

Mini ユーザー ガイド

© Copyright 2009 Hewlett-Packard
Development Company, L.P.

Bluetooth は、その所有者が所有する商標であり、使用許諾に基づいて Hewlett-Packard Company が使用しています。SD ロゴは、その所有者の商標です。Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

改訂第 1 版：2009 年 12 月

初版：2009 年 9 月

製品番号：574394-292

製品についての注意事項

このユーザー ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いの Mini では使用できない場合があります。

『Mini ユーザー ガイド』の最新情報を入手するには、HP の Web サイト <http://www.hp.com/support/> にアクセスしてください。

安全に関するご注意

-
- △ **警告！** ユーザーが火傷をしたり、コンピューターが過熱状態になったりするおそれがありますので、コンピューターを直接ひざの上に置いて使用したり、コンピューターの通気孔をふさいだりしないでください。コンピューターは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、ACアダプターを肌に触れる位置に置いたり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものの上に置いたりしないでください。お使いのコンピューターおよびACアダプターは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment (IEC 60950) で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に準拠しています。
-

目次

1 ハードウェア機能

必要なハードウェアの確認	1
表面の各部	1
タッチパッド	1
ランプ	2
ボタン	3
キー	4
前面の各部	4
右側面の各部	5
左側面の各部	6
ディスプレイの各部	7
裏面の各部	8
無線アンテナ	9
その他のハードウェア コンポーネント	10
ラベルの確認	10

2 [HP QuickWeb]ソフトウェアの使用（一部のモデルのみ）

3 無線およびローカル エリア ネットワーク

無線デバイスの使用	13
無線アイコンとネットワーク ステータス アイコンの確認	14
無線コントロールの使用	14
無線ボタンの使用	14
[HP Connection Manager]ソフトウェアの使用（一部のモデルのみ）	15
[HP Wireless Assistant]ソフトウェアの使用（一部のモデルのみ）	15
オペレーティング システムの制御機能の使用	16
無線 LAN の使用	16
無線 LAN のセットアップ	16
無線 LAN の保護	17
無線 LAN への接続	18
他のネットワークへのローミング	18
HP モバイル ブロードバンドの使用（一部のモデルおよび一部の国や地域のみ）	18
SIM の装着	19
SIM の取り出し	20
Bluetooth 無線デバイスの使用	21
Bluetooth とインターネット接続共有（ICS）	21
無線接続に関する問題のトラブルシューティング	22
無線 LAN 接続を作成できない場合	22

優先ネットワークに接続できない場合	23
現在のネットワーク セキュリティ コードが使用できない場合	23
無線 LAN 接続が非常に弱い場合	24
無線ルーターに接続できない場合	24
ローカル エリア ネットワーク (LAN) への接続	24

4 マルチメディア

マルチメディア機能	26
マルチメディア コンポーネントの各部	26
音量の調整	28
マルチメディア ソフトウェア	29
プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアの使用	29
インターネットからのマルチメディア ソフトウェアのインストール	29
オーディオ	30
外付けオーディオ デバイスの接続	30
オーディオ機能の確認	30
動画	32
外付けモニターまたはプロジェクターの接続	32
HDMI デバイスの接続	32
HDMI 用のオーディオの設定 (一部のモデルのみ)	33
Web カメラ	34

5 ドライブと外付けデバイス

ドライブ	35
取り付けられているドライブの確認	35
ドライブの取り扱い	35
ハードドライブ パフォーマンスの向上	36
ディスク デフラグの使用	36
ディスク クリーンアップの使用	37
ハードドライブ ベイ内のハードドライブの交換	37
外付けドライブの使用	39
別売の外付けドライブの接続	40
オプティカル ドライブの共有	40
外付けデバイス	42
USB (Universal Serial Bus) デバイスの使用	42
USB デバイスの接続	42
USB デバイスの取り外し	42
メディア カードの使用	43
メディア カードの挿入	43
メディア カードの停止と取り出し	44

6 メモリ モジュール

7 ポインティング デバイスおよびキーボード

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ	49
ポインティング デバイスの使用	49
タッチパッドの使用	49
外付けマウスの接続	49

キーボードの使用	49
ホットキーの使用	49
スタンバイを起動する	50
画面を切り替える	51
画面の輝度を下げる	51
画面の輝度を上げる	51
[QuickLock]を開始する	51
スピーカーの音を消す	52
スピーカーの音量を下げる	52
スピーカーの音量を上げる	52

8 電源の管理

電源オプションの設定	53
省電力設定の使用	53
スタンバイの起動および終了	53
ハイバネーションの起動および終了	54
電源設定の使用	54
現在の設定の表示	54
異なる電源設定の選択	55
電源設定のカスタマイズ	55
スタンバイ終了時のパスワード保護の設定	55
外部電源の使用	55
ACアダプターの接続	56
バッテリー電源の使用	57
バッテリー充電残量の表示	57
バッテリーの着脱	57
バッテリーの充電	58
バッテリーの放電時間の最長化	59
ローバッテリー状態への対処	59
ローバッテリー状態の確認	59
ローバッテリー状態の解決	61
外部電源を使用できる場合のローバッテリー状態の解決	61
充電済みのバッテリーを使用できる場合のローバッテリー状態の解決	61
電源を使用できない場合のローバッテリー状態の解決	61
ハイバネーションを終了できない場合のローバッテリー状態の解決	61
バッテリーゲージの調整	61
手順1：バッテリーを完全に充電する	61
手順2：ハイバネーションおよびスタンバイを無効にする	62
手順3：バッテリーを放電する	62
手順4：バッテリーを完全に再充電する	63
手順5：ハイバネーションおよびスタンバイを再び有効にする	63
バッテリーの節電	63
バッテリーの保管	63
使用済みバッテリーの処理	64
コンピューターのシャットダウン	64

9 セキュリティ

コンピューターの保護	65
パスワードの使用	65
Windows でのパスワードの設定	66
セットアップユーティリティでのパスワードの設定	67
管理者パスワード	67
管理者パスワードの管理	67
管理者パスワードの入力	68
電源投入時パスワード	68
電源投入時パスワードの管理	68
電源投入時パスワードの入力	68
ウイルス対策ソフトウェアの使用	69
ファイアウォールソフトウェアの使用	70
緊急アップデートのインストール	71

10 ソフトウェア アップデート

BIOS の更新	73
BIOS のバージョンの確認	73
BIOS アップデートのダウンロード	73
プログラムとドライバーの更新	75

11 セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティの開始	76
セットアップユーティリティの使用	76
セットアップユーティリティの言語の変更	76
セットアップユーティリティでの移動および選択	77
システム情報の表示	77
セットアップユーティリティでの初期設定の復元	77
セットアップユーティリティの終了	78
セットアップユーティリティのメニュー	78
[Main] (メイン) メニュー	78
[Security] (セキュリティ) メニュー	78
[System Configuration] (システム コンフィギュレーション) メニュー	78
[Diagnosics] (診断) メニュー	79

索引	80
----------	----

1 ハードウェア機能

必要なハードウェアの確認

お使いのコンピューターに付属のコンポーネントは、国や地域、およびモデルによって異なる場合があります。この章の図には、ほとんどのモデルに共通の機能が示されています。

コンピューターに取り付けられているハードウェアの一覧を参照するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[マイ コンピューター]の順に選択します。
2. [システムのタスク]ウィンドウの左枠内で、[システム情報を表示する]を選択します。
3. [ハードウェア]タブ→[デバイス マネージャー]の順に選択します。

[デバイス マネージャー]を使用して、ハードウェアの追加またはデバイス設定の変更もできます。

表面の各部

タッチパッド



名称	説明
(1) タッチパッド*	ポインターを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします

名称	説明
(2) 左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(3) 右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します
(4) タッチパッドのスクロール ゾーン	画面を上下にスクロールします

*この表では初期設定の状態について説明しています。ポインティング デバイスの設定を表示したり変更したりするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンターとその他のハードウェア]→[マウス]の順に選択します。

ランプ



名称	説明
(1) Caps Lock ランプ	点灯 : Caps Lock がオンになっています
(2)  電源ランプ	<ul style="list-style-type: none"> 点灯 : コンピューターの電源がオンになっています 点滅 : コンピューターがスタンバイ状態になっています 消灯 : コンピューターの電源がオフになっているか、ハイバネーション状態になっています
(3)  無線ランプ	<ul style="list-style-type: none"> 点灯 : 無線 LAN デバイスや Bluetooth®デバイスなどの内蔵無線デバイスの電源がオンになっています 消灯 : すべての無線デバイスがオフになっています

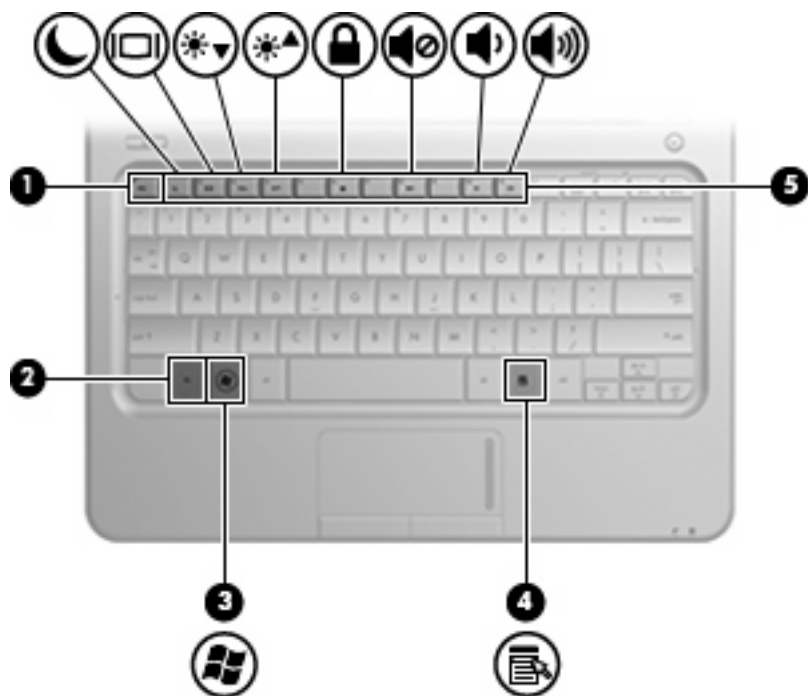
ボタン




名称	説明
(1) 電源ボタン*	<ul style="list-style-type: none">• コンピューターの電源が切れているときにボタンを押すと、電源が入ります• コンピューターの電源が入っているときにボタンを短く押すと、スタンバイが起動されます• コンピューターがスタンバイ状態のときにボタンを短く押すと、スタンバイが終了します• コンピューターがハイバネーション状態のときにボタンを短く押すと、ハイバネーションが終了します <p>コンピューターが応答せず、Windows®のシャットダウン手順を実行できないときは、電源ボタンを5秒程度押し続けたままにすると、コンピューターの電源が切れます</p> <p>電源設定について詳しくは、[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[電源オプション]の順に選択します</p>
(2) 無線ボタン	<p>無線機能をオンまたはオフにしますが、無線接続は作成されません</p> <p>注記： 無線接続を確立するには、無線ネットワークがセットアップされている必要があります</p>

*この表では初期設定の状態について説明しています。初期設定値の変更については、[ヘルプとサポート]からユーザー ガイドを参照してください。

キー





名称	説明
(1) esc キー	fn キーと組み合わせて押すことによって、システム情報を表示します
(2) fn キー	ファンクションキーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します
(3)  Windows ロゴ キー	Windows の[スタート]メニューを表示します
(4)  Windows アプリケーション キー	ポインターを置いた項目のショートカットメニューを表示します
(5) ファンクション キー	fn キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します

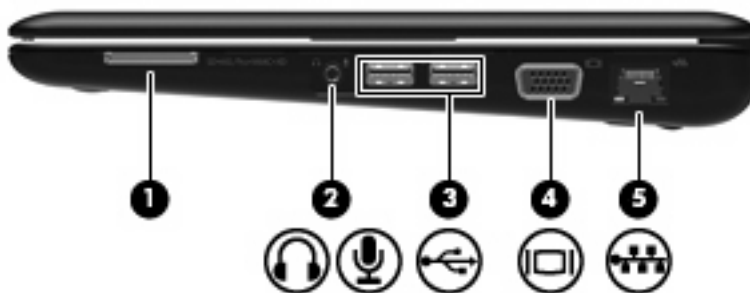
前面の各部





名称	説明
(1) スピーカー (×2)	サウンドを出力します

名称	説明
(2)  バッテリー ランプ	<ul style="list-style-type: none"> ● 点灯：バッテリーが充電中です ● 点滅：コンピューターの電源としてバッテリーのみを使用していて、ロー バッテリー状態になっています。完全なロー バッテリー状態になった場合は、バッテリー ランプがすばやく点滅し始めます ● 消灯：コンピューターが外部電源に接続されている場合、コンピューターに装着されているすべてのバッテリーが完全に充電されると、このランプは消灯します。コンピューターが外部電源に接続されていない場合は、ロー バッテリー状態になるまでランプは消灯したままです
(3)  ドライブ ランプ	点滅：ハードドライブまたはフラッシュドライブにアクセスしています

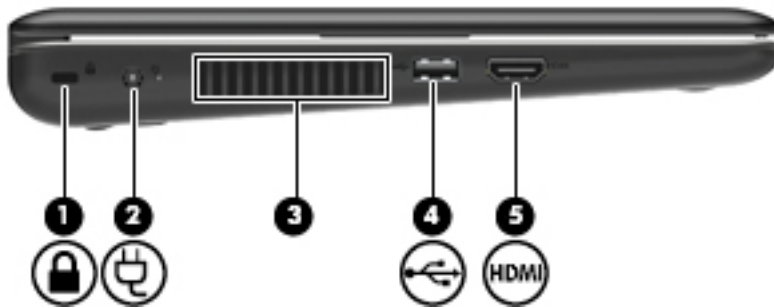
右側面の各部






名称	説明
(1) メディア スロット	<p>以下のフォーマットの別売のメディア カードに対応しています</p> <ul style="list-style-type: none"> ● メモリースティック (MS) ● メモリースティック PRO (MS/Pro) ● マルチメディアカード (MMC) ● SD (Secure Digital) メモリ カード ● xD ピクチャーカード (XD)
(2)  オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタ/オーディオ入力 (マイク) コネクタ	<p>別売の電源付きステレオ スピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオに接続したときに、サウンドを出力します。別売のヘッドセット マイクも接続します</p> <p>注記： コネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります</p> <p>オーディオ コンポーネントのケーブルには、4 芯コネクタが装備されている必要があります</p>
(3)  USB コネクタ (×2)	別売の USB デバイスを接続します

名称	説明
(4)  外付けモニター コネクタ	外付け VGA モニターまたはプロジェクターを接続します
(5)  RJ-45 (ネットワーク) コネクタ	ネットワーク ケーブルを接続します

左側面の各部



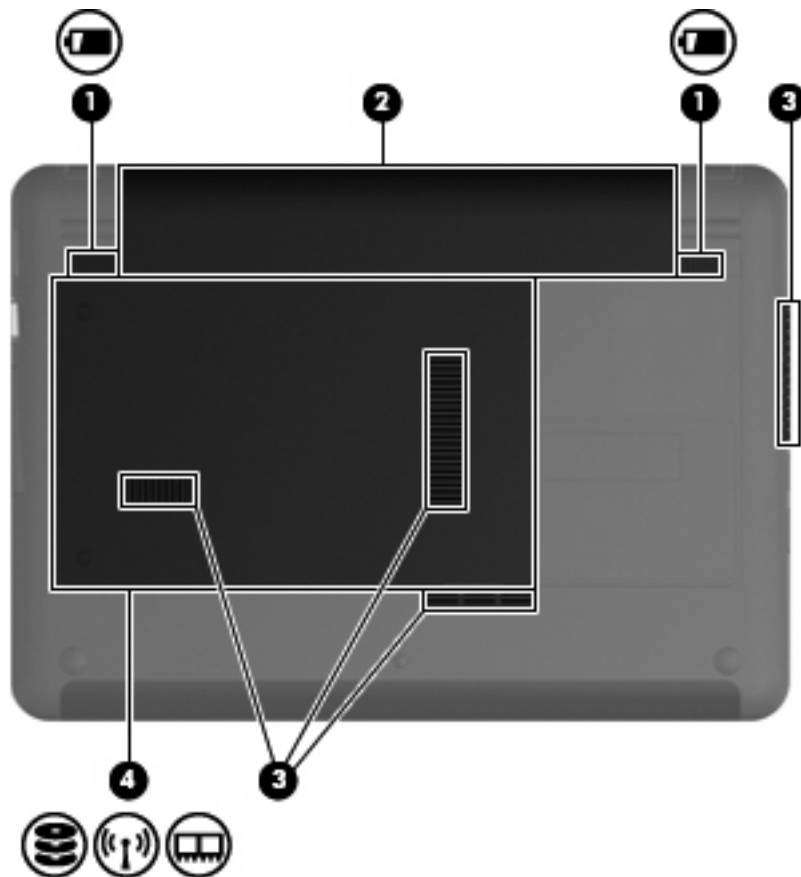
名称	説明
(1)  セキュリティ ロック ケーブル用スロット	別売のセキュリティ ロック ケーブルをコンピューターに接続します 注記： セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません
(2)  電源コネクタ	AC アダプターを接続します
(3) 通気孔	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します 注記： 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
(4)  USB コネクタ	別売の USB デバイスを接続します
(5) HDMI コネクタ	HD 対応テレビなどの別売のビデオ デバイスやオーディオ デバイス、または対応するデジタルコンポーネントやオーディオ コンポーネントを接続します 注記： お使いのコンピューターのモデルによって、この場所に HDMI コネクタが搭載されている場合と USB コネクタが搭載されている場合があります





ディスプレイの各部



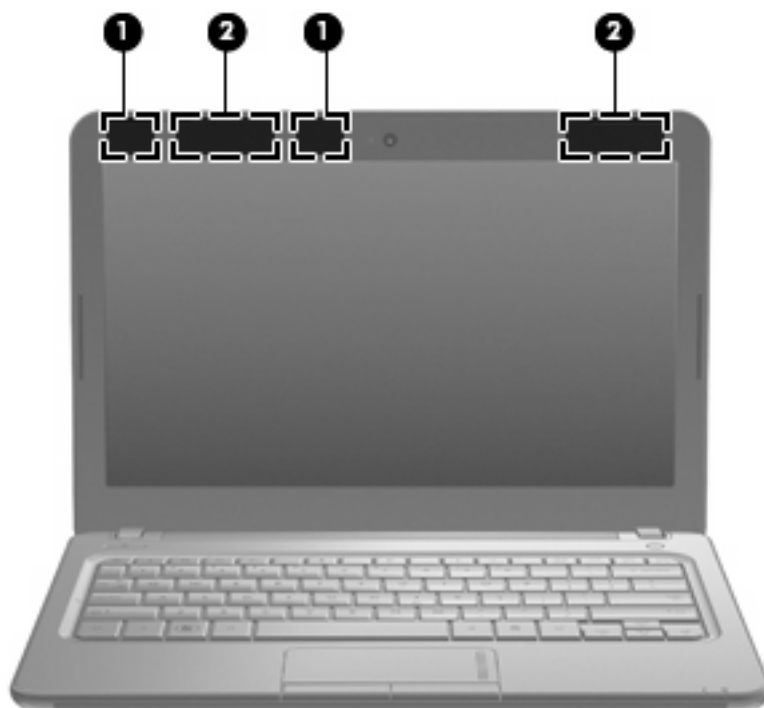
名称	説明
(1) 内蔵ディスプレイ スイッチ	コンピューターの電源が入っている状態でディスプレイを閉じると、ディスプレイの電源が切れます
(2) Web カメラ ランプ	点灯 : Web カメラを使用しています
(3) Web カメラ	静止画像を撮影したり、動画を録画したりします 注記 : 動画を録画するには、Web カメラ ソフトウェアを追加インストールする必要があります
(4) 内蔵マイク	サウンドを録音します

裏面の各部



名称	説明
(1)  バッテリ リリース ラッチ (×2)	バッテリーをバッテリー ベイから固定解除します
(2) バッテリ ベイ	バッテリーが装着されています
(3) 通気孔 (×4)	<p>コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します</p> <p>注記： 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です</p>
(4)    ハードドライブ ベイ	<p>ハードドライブ、無線 LAN モジュール スロット、およびメモリ モジュール スロットがあります</p> <p>注意： システムが反応しなくなったりエラー メッセージが表示されたりすることを防ぐために、無線 LAN モジュールを取り替える場合は、日本国内の無線デバイスの認定/承認機関でこのコンピューター用に認定されたモジュールのみを使用してください。モジュールを交換した後エラー メッセージが表示される場合は、モジュールを取り外してコンピューターを元の状態に戻した後で、[ヘルプとサポート]からサポート窓口にお問い合わせください</p>

無線アンテナ



名称	説明
(1) 無線 LAN アンテナ (×2) *	無線ローカル エリア ネットワーク (無線 LAN) で通信する無線信号を送受信します
(2) 無線 WAN アンテナ (×2) (一部のモデルのみ) *	無線ワイドエリア ネットワーク (無線 WAN) で通信する無線信号を送受信します

*アンテナはコンピューターの外側からは見えません。転送が最適に行われるようにするため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。

お住まいの地域の無線に関する規定情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。これらの規定情報には、[ヘルプとサポート]からアクセスできます。

その他のハードウェア コンポーネント



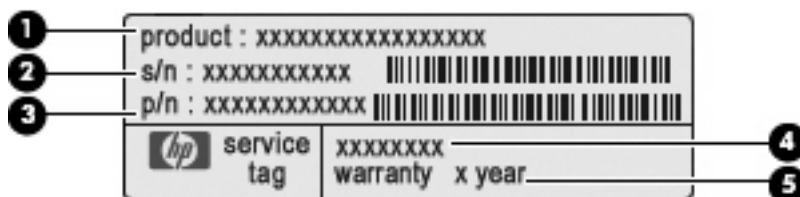
名称	説明
(1) 電源コード*	AC アダプターを電源コンセントに接続します
(2) バッテリー*	コンピューターが外部電源に接続されていないときに、コンピューターに電力を供給します
(3) AC アダプター	AC 電源を DC 電源に変換します

*バッテリーおよび電源コードの外観は国や地域によって異なります。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属の電源コードをお使いください。付属の電源コードは、他の製品では使用できません。

ラベルの確認

コンピューターに貼付されているラベルには、システムの問題を解決したり、コンピューターを日本国外で使用したりするときに必要な情報が記載されています。

- サービス タグ：以下の情報を含む重要な情報が記載されています。



- (1) 製品名：コンピューターの前面に貼付されている製品名です。
- (2) シリアル番号 (s/n)：各製品に一意の英数字 ID です。
- (3) 製品番号 (p/n)：製品のハードウェア コンポーネントに関する固有の情報を提示する番号です。製品番号は、サポート担当者が必要なコンポーネントや部品を確認する場合に役立ちます。

- (4) モデルの記載：お使いのコンピューターに関する文書、ドライバー、サポート情報を得るときに使用します。
- (5) 保証期間：このコンピューターの標準保証期間が（年数で）記載されています。

これらの情報は、サポート窓口にお問い合わせをするときに必要です。サービス タグ ラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。

- Microsoft® Certificate of Authenticity : Windows のプロダクト キー（Product Key、Product ID）が記載されています。プロダクト キーは、オペレーティング システムのアップデートやトラブルシューティングのときに必要になる場合があります。このラベルは、コンピューターの裏面に貼付されています。
- 規定ラベル：コンピューターの規定に関する以下の情報が記載されています。
 - オプションの無線デバイスに関する情報と、認定各国または各地域の一部の認定マーク。オプションのデバイスは、無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイスなどです。日本国外で無線デバイスを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。
 - HP モバイル ブロードバンド モジュールのシリアル番号。


規定ラベルは、バッテリー ベイ内に貼付されています。

2 [HP QuickWeb]ソフトウェアの使用（一部のモデルのみ）

[HP QuickWeb]は、プログラムを必要に応じてすぐに実行できる、Windows オペレーティング システムから独立した環境を提供します。[HP QuickWeb]を使用すると、オペレーティング システムを起動しなくても、一部のプログラムにすばやくアクセスできます。この機能によって、インターネットを参照したり、電子メールを表示および送信したり、デジタル写真を表示したり、音楽を聴いたり、インスタント メッセージまたは[Skype]で連絡を取り合ったりできます。[HP QuickWeb]は、電源ボタンを数秒間押すと使用可能な状態になります。

[HP QuickWeb]は以下の機能を備えています。

- Web ブラウザー：インターネットを検索および参照し、お気に入りの Web サイトへのリンクを作成します。
- 音楽プレーヤー：お気に入りの音楽を再生し、プレイリストを作成します。
- フォト ビューアー：写真を表示するほか、アルバムを作成したりスライド ショーを表示したりします。
- [Skype]（一部のモデルのみ）：[Skype]は VoIP（Voice over Internet Protocol）ソフトウェアで、他の[Skype]ユーザーと無料で連絡を取り合うことができます。[Skype]を使用すると、一度に 1 人以上の人と電話会議またはビデオ チャットを開催できます。また、固定電話番号に長距離電話をかけることもできます。
- チャット：[Google Talk]、[Windows Live Messenger]、[Yahoo! Messenger]など、プロバイダーが提供する複数のインスタント メッセージ プログラムで友人とチャットします。
- Web カレンダー：お気に入りのオンラインの予定表プログラムを使用して、スケジュールを表示、編集、および管理します。
- Web メール：Yahoo、Gmail などの Web メール プロバイダーを使用して、電子メールを表示および送信します。

 **注記：** [HP QuickWeb]の使い方については、お使いのコンピューターに付属の『基本操作ガイド』を参照してください。

3 無線およびローカル エリア ネットワーク


無線デバイスの使用

無線技術では、有線のケーブルの代わりに電波を介してデータを転送します。お買い上げいただいたコンピューターには、以下の無線デバイスが1つ以上内蔵されている場合があります。

- 無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイス：会社の事務所、自宅、および公共の場所（空港、レストラン、コーヒー ショップ、ホテル、大学など）で、コンピューターを無線ローカル エリア ネットワーク（一般に、無線 LAN ネットワーク、無線 LAN、WLAN と呼ばれます）に接続します。無線 LAN では、各モバイル無線デバイスは無線ルータまたは無線アクセスポイントと通信します。
- HP モバイル ブロードバンド モジュール：モバイル ネットワーク事業者のサービスが利用できる場所であればどこでも情報にアクセスできる、無線ワイド エリア ネットワーク（無線 WAN）デバイスです。無線 WAN では、各モバイル デバイスはモバイル ネットワーク事業者の基地局と通信します。モバイル ネットワーク事業者は、地理的に広い範囲に基地局（携帯電話の通信塔に似ています）のネットワークを設置し、県や地域、場合によっては国全体にわたってサービスエリアを効率的に提供します。
- Bluetooth デバイス：他の Bluetooth 対応デバイス（コンピューター、電話機、プリンター、ヘッドセット、スピーカー、カメラなど）に接続するためのパーソナル エリア ネットワーク（PAN）を確立します。PAN では、各デバイスが他のデバイスと直接通信するため、デバイス同士が比較的近距离になければなりません（通常は約 10 m 以内）。

無線 LAN デバイスを搭載したコンピューターは、以下の IEEE 業界標準のうち 1 つ以上に対応しています。

- 802.11b：最初に普及した規格であり、最大 11 Mbps のデータ転送速度をサポートし、2.4 GHz の周波数で動作します。
- 802.11g：最大 54 Mbps のデータ転送速度をサポートし、2.4 GHz の周波数で動作します。802.11g の無線 LAN デバイスは 802.11b デバイスとの後方互換性があるため、両方を同じネットワークで使用できます。
- 802.11a：最大 54 Mbps のデータ転送速度をサポートし、5 GHz の周波数で動作します。

 **注記：** 802.11a は 802.11b および 802.11g との互換性はありません。

- 802.11n は最大 450 Mbps のデータ速度をサポートし、2.4 GHz または 5 GHz で動作します。802.11a、b、g との互換性があります。

無線技術について詳しくは、[ヘルプとサポート]の情報および Web サイトへのリンクを参照してください。

無線アイコンとネットワーク ステータス アイコンの確認

アイコン	名前	説明
	無線（接続済み）	コンピューターのハードウェアとしての無線ランプおよび無線ファンクションキーの位置を示します。ソフトウェアとしては、コンピューター上の[HP Wireless Assistant]ソフトウェアを示し、また1つ以上の無線デバイスがオンになっていることを表します
	無線（切断済み）	コンピューター上の[HP Wireless Assistant]ソフトウェアおよびすべての無線デバイスがオフになっていることを示します
	無線ネットワーク接続（接続済み）	1つ以上の無線 LAN デバイスがネットワークに接続されていることを示します
	無線ネットワーク接続（切断済み）	1つ以上の無線 LAN デバイスがネットワークに接続されていないことを示します
	ネットワーク ステータス（接続済み）	1つ以上の LAN ドライバーがインストールされていて、1つ以上の LAN デバイスがネットワークに接続されていることを示します
	ネットワーク ステータス（切断済み）	1つ以上の LAN ドライバーがインストールされているが、どの LAN デバイスもネットワークに接続されていないことを示します

無線コントロールの使用


以下の機能を使用して、コンピューター本体の無線デバイスを制御できます。

- 無線ボタンまたは無線スイッチ
- [HP Connection Manager]ソフトウェア（一部のモデルのみ）
- [HP Wireless Assistant]ソフトウェア（一部のモデルのみ）
- オペレーティング システムの制御機能

無線ボタンの使用

モデルにもよりますが、コンピューターには無線ボタン、1つ以上の無線デバイス、1つまたは2つの無線ランプがあります。出荷時の設定では、コンピューターのすべての無線デバイスは有効になっていて、コンピューターの電源を入れると青い無線ランプが点灯します。

無線ランプは、無線デバイスの全体的な電源の状態を表すものであり、個々のデバイスの状態を表すものではありません。青い無線ランプが点灯している場合は、1つ以上の無線デバイスが有効になっていることを示しています。無線ランプが点灯していない場合は、すべての無線デバイスが無効になっていることを示しています。

 **注記：** モデルによっては、すべての無線デバイスがオフになっている場合にオレンジ色のランプが点灯します。


すべての無線デバイスが工場出荷時に有効に設定されているため、複数の無線デバイスのオンとオフの切り替えを、無線ボタンで同時に行うことができます。無線デバイスのオンとオフを個別に制御するには、[HP Wireless Assistant]ソフトウェア（一部のモデルのみ）を使用します。


[HP Connection Manager]ソフトウェアの使用（一部のモデルのみ）

[HP Connection Manager]を使用すると、インターネット プロファイル、SMS（ショートメッセージサービス）のメッセージング機能、および接続デバイスと接続方式を管理したり、その他の設定を編集したりすることができます。

[HP Connection Manager]を開くには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある**[HP Connection Manager]**アイコンをクリックします。
2. **[接続]**をクリックして無線ワイド エリア ネットワーク（無線 WAN）機能をオンにし、HP モバイル ブロードバンドを使用します。


 **注記：** 接続に必要な時間は場合によって異なります。接続が確立されると、[HP Connection Manager]のウィンドウに通知メッセージが表示されます。

 **注記：** [HP Connection Manager]は、最初に開いたときは最小化されています。[HP Connection Manager]のウィンドウを最大化して接続状態に関する詳細情報を表示するには、**[詳細]**をクリックします。

[HP Connection Manager]の使用方法について詳しくは、[HP Connection Manager]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[HP Wireless Assistant]ソフトウェアの使用（一部のモデルのみ）

無線デバイスは、[HP Wireless Assistant]ソフトウェアを使用してオンとオフを切り替えることができます。無線デバイスがセットアップ ユーティリティで無効になっている場合、[HP Wireless Assistant]を使用してそのデバイスのオンとオフを切り替えるには、最初にセットアップ ユーティリティで有効に設定しなおしておく必要があります。

 **注記：** 無線デバイスを有効にしても（オンにしても）、コンピューターがネットワークまたは Bluetooth 対応デバイスに自動的に接続されるわけではありません。

無線デバイスの状態を表示するには、**[隠れているインジケータを表示します]**アイコン（通知領域の左側にある矢印）をクリックし、無線アイコンの上にマウス ポインターを置きます。

[無線]アイコンが通知領域に表示されていない場合、以下の操作を行って[HP Wireless Assistant]のプロパティを変更します。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ネットワークとインターネット接続]**→**[HP Wireless Assistant]**の順に選択します。
2. **[プロパティ]**をクリックします。
3. 通知領域の**[Wireless Assistant]**アイコンの横のチェック ボックスにチェックを入れます。
4. **[適用]**をクリックします。

詳しくは、[HP Wireless Assistant]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

1. [Windows モビリティ センター]にある無線アイコンをクリックして[HP Wireless Assistant]を開きます。
2. **[ヘルプ]**ボタンをクリックします。

オペレーティング システムの制御機能の使用


一部のオペレーティング システムでは、オペレーティング システム自体の機能として内蔵無線デバイスと無線接続を管理する方法が提供されています。たとえば、Windows の[ネットワーク接続]では、接続のセットアップ、ネットワークへの接続、無線ネットワークの管理、および接続の診断と修復が行えます。

[ネットワーク接続]にアクセスするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]の順に選択します。

詳しくは、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択します。

無線 LAN の使用

無線 LAN デバイスを使用すると、無線ルータまたは無線アクセス ポイントによってリンクされた、複数のデバイスおよび周辺機器で構成されている無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）にアクセスできます。

 **注記：** 無線ルータと無線アクセス ポイントという用語は、同じ意味で使用されることがよくあります。

- 企業無線 LAN や公共無線 LAN などの大規模無線 LAN では通常、多数のデバイスや周辺機器に対応できる無線アクセス ポイントを使用することによって、重要なネットワーク機能を他のサービスから切り離すことができます。
- ホーム オフィス無線 LAN やスモール オフィス無線 LAN では通常、無線ルータを使用して、複数台の無線接続または有線接続のコンピューターでインターネット接続、プリンター、およびファイルを共有できます。追加のハードウェアやソフトウェアは必要ありません。

お使いのコンピューターに搭載されている無線 LAN デバイスを使用するには、無線 LAN インフラストラクチャ（サービス プロバイダーか、公共または企業ネットワークを介して提供される）に接続する必要があります。

無線 LAN のセットアップ

無線 LAN をセットアップし、インターネットに接続するには、以下のような準備が必要です。

- ブロードバンド モデム（DSL またはケーブル）(1) およびインターネット サービス プロバイダー（ISP）が提供する高速インターネット サービス
- 無線ルータ（別売）(2)
- 無線デバイス (3) を搭載しているコンピューター

下の図は、インターネットに接続している無線ネットワークのインストール例を示しています。



お使いのネットワークを拡張する場合、インターネットのアクセス用に新しい無線または有線のコンピューターをネットワークに追加することができます。

無線 LAN のセットアップについて詳しくは、ルータの製造元または ISP から提供されている情報を参照してください。

無線 LAN の保護

無線 LAN の標準仕様に備わっているセキュリティ機能は限られていて、基本的には大規模な攻撃ではなく簡単な盗聴を防ぐための機能しかありません。そのため、無線 LAN には、既知でよく確認されているセキュリティの脆弱性があると認識しておくことが大切です。

「無線 LAN スポット」と呼ばれるインターネット カフェや空港などで利用できる公衆無線 LAN では、セキュリティ対策が取られていないことがあります。公共の場でのセキュリティと匿名性を高める新しい技術は、無線デバイスの製造元や無線 LAN スポットのサービス プロバイダーによって開発されている段階です。無線 LAN スポットを利用するときにコンピューターのセキュリティに不安がある場合は、ネットワークに接続しての操作を、重要でない電子メールや基本的なネットサーフィン程度にとどめておいてください。

無線 LAN をセットアップする場合や、既存の無線 LAN にアクセスする場合は、常にセキュリティ機能を有効にして、不正アクセスからネットワークを保護してください。一般的なセキュリティレベルは、WPA (Wi-Fi Protected Access) -Personal と WEP (Wired Equivalent Privacy) です。無線信号はネットワークの外に出してしまうため、他の無線 LAN デバイスに保護されていない信号を拾われ、(許可しない状態で) ネットワークに接続されたり、ネットワークでやり取りされる情報を取得されたりする可能性があります。ただし、事前に対策を取ることで無線 LAN を保護できます。

- **セキュリティ機能内蔵の無線トランスミッタを使用する**

無線基地局、ゲートウェイ、またはルータといったトランスミッタの多くには、無線セキュリティ プロトコルやファイアウォールといったセキュリティ機能が内蔵されています。適切な無線トランスミッタを使用すれば、無線セキュリティでの最も一般的なリスクからネットワークを保護できます。

- **ファイアウォールを利用する**

ファイアウォールは、ネットワークに送信されてくるデータとデータ要求をチェックし、疑わしいデータを破棄する防御壁です。利用できるファイアウォールにはさまざまな種類があり、ソフトウェアとハードウェアの両方があります。ネットワークによっては、両方の種類を組み合わせで使用します。

- **無線を暗号化する**


さまざまな種類の高度な暗号プロトコルが、無線 LAN ネットワークで利用できます。お使いのネットワークのセキュリティにとって最適な解決策を、以下の中から探してください。

- **WEP (Wired Equivalent Privacy)** は、すべてのネットワーク データを送信される前に WEP キーで符号化または暗号化する無線セキュリティ プロトコルです。通常は、ネットワーク側が割り当てた WEP キーを使用できます。また、自分でキーを設定したり、異なるキーを生成したり、他の高度なオプションを選んだりすることもできます。正しいキーを持たない他のユーザーが無線 LAN を使用することはできません。
- **WPA (Wi-Fi Protected Access)** は、WEP と同じように、セキュリティ設定によってネットワークから送信されるデータの暗号化と復号化を行います。ただし、WEP のように 1 つの決められたセキュリティ キーを利用して暗号化を行うのではなく、「TKIP」(temporal key integrity protocol) を使用してパケットごとに新しいキーを動的に生成します。また、ネットワーク上にあるコンピューターごとに異なるキーのセットを生成します。

無線 LAN への接続


無線 LAN に接続するには、以下の操作を行います。

1. 無線 LAN デバイスがオンになっていることを確認します。オンになっている場合は、無線ランプが青色に点灯します。無線ランプがオレンジ色の場合は、無線スイッチをスライドさせます。
2. **[スタート]**→**[接続先]**の順に選択します。
3. 一覧から目的の無線 LAN を選択し、必要に応じてネットワーク セキュリティ キーを入力します。
 - ネットワークのセキュリティ設定がされていない場合は、誰でもこのネットワークにアクセスできるため、警告メッセージが表示されます。警告メッセージを確認し、接続を完了するには、**[接続]**をクリックします。
 - ネットワークがセキュリティ設定済みの無線 LAN である場合は、セキュリティ コードであるネットワーク セキュリティ キーの入力を求めるメッセージが表示されます。コードを入力し、**[接続]**をクリックして接続を完了します。

 **注記：** 無線 LAN が一覧に表示されない場合は、無線ルータまたはアクセス ポイントの範囲外にいることを示します。

注記： 接続したいネットワークが表示されない場合は、**[接続またはネットワークをセットアップします]**をクリックします。オプションの一覧が表示されます。手動での検索や、ネットワークへの接続、新しいネットワーク接続の作成などのオプションを選択できます。

4. 接続完了後、タスクバー右端の通知領域にある無線ネットワーク接続アイコンの上にマウス ポインターを置くと、接続の名前、速度、強度、およびステータスを確認できます。

 **注記：** 動作範囲（無線信号が届く範囲）は、無線 LAN の実装、ルータの製造元、および壁や床などの建造物やその他の電子機器からの干渉に応じて異なります。

無線 LAN の使用方法について詳しくは、以下のリソースを参照してください。

- インターネット サービス プロバイダー（ISP）から提供される情報や、無線ルータやその他の無線 LAN 機器に添付されている説明書等
- **[ヘルプとサポート]**で提供されている情報や、そこにある Web サイトのリンク

近くにある公共無線 LAN の一覧については、ISP に問い合わせるか Web を検索してください。公共無線 LAN の一覧を掲載している Web サイトは、「無線 LAN スポット」などのキーワードで検索できます。それぞれの公共無線 LAN の場所について、費用と接続要件を確認します。

他のネットワークへのローミング

お使いのコンピューターを他の無線 LAN が届く範囲に移動すると、Windows はそのネットワークへの接続を試みます。接続の試行が成功すると、お使いのコンピューターは自動的にそのネットワークに接続されます。新しいネットワークが Windows によって認識されなかった場合は、お使いの無線 LAN に接続するために最初に行った操作をもう一度実行してください。

HP モバイル ブロードバンドの使用（一部のモデルおよび一部の国や地域のみ）

HP モバイル ブロードバンド モジュールは、モバイル ネットワーク事業者のサービスが利用できる場所であればどこでも情報にアクセスできる無線ワイドエリア ネットワーク（無線 WAN）デバイスです。HP モバイル ブロードバンドを使用するには、ネットワーク サービス プロバイダー（モバイ

ルネットワーク事業者と呼ばれます)と契約する必要があります。ネットワーク サービス プロバイダーは、ほとんどの場合、携帯電話事業者です。HP モバイル ブロードバンドの対応範囲は、携帯電話の通話可能範囲とほぼ同じです。

モバイル ネットワーク事業者のサービスを利用して HP モバイル ブロードバンドを使用すると、出張や移動中、または無線 LAN スポットの範囲外にいるときでも、インターネットへの接続、電子メールの送信、および企業ネットワークへの接続が常時可能になります。

HP モバイル ブロードバンドは、以下のテクノロジーをサポートしています。

- HSPA (High Speed Packet Access) は、GSM (Global System for Mobile Communications) 電気通信標準に基づいてネットワークへのアクセスを提供します。
- EV-DO (Evolution Data Optimized) は、CDMA (Code Division Multiple Access) 電気通信標準に基づいてネットワークへのアクセスを提供します。

モバイル ブロードバンド サービスを有効にするには、HP モバイル ブロードバンド モジュールのシリアル番号が必要な場合があります。シリアル番号は、コンピューターのバッテリー ベイの内側に貼付されているラベルに印刷されています。

モバイル ネットワーク事業者によっては、SIM (Subscriber Identity Module) が必要な場合があります。SIM には、PIN (個人識別番号) やネットワーク情報など、ユーザーに関する基本的な情報が含まれています。一部のコンピューターでは、SIM がバッテリー ベイにプリインストールされています。SIM がプリインストールされていない場合、SIM は、コンピューターに付属の HP モバイル ブロードバンド情報に含まれているか、モバイル ネットワーク事業者から別途入手できることがあります。

SIM の装着と取り出しについての詳しい情報は、この章の「SIM の装着」と「SIM の取り出し」の項を参照してください。

HP モバイル ブロードバンドに関する情報や、推奨されるモバイル ネットワーク事業者のサービスを有効にする方法については、コンピューターに付属の HP モバイル ブロードバンド情報を参照してください。詳しくは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/go/mobilebroadband/> (英語サイト) を参照してください。

SIM の装着

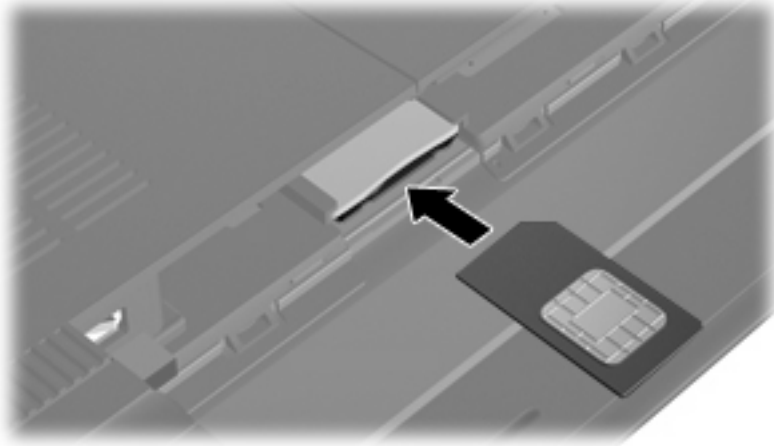
SIM を装着するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターをシャットダウンします。コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
2. ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、コンピューターの電源コネクタから AC アダプターを取り外します。
5. バッテリー ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリーを取り外します。

- △ **注意：** SIM を装着するときには、カードの欠けた一角が図に示された位置にくるようにしてください。SIM を上下または裏表反対に挿入した場合、カチッという音はせず、バッテリーは正しく固定されずに SIM および SIM コネクタが損傷するおそれがあります。

コネクタの損傷を防ぐため、SIM を装着するときは無理な力を加えないでください。

7. SIM を SIM スロットに挿入し、しっかり固定されるまでそっと押し込みます。



8. バッテリーを装着しなおします。

啓 **注記：** バッテリーを装着しなおしないと、HP モバイル ブロードバンドは無効になります。

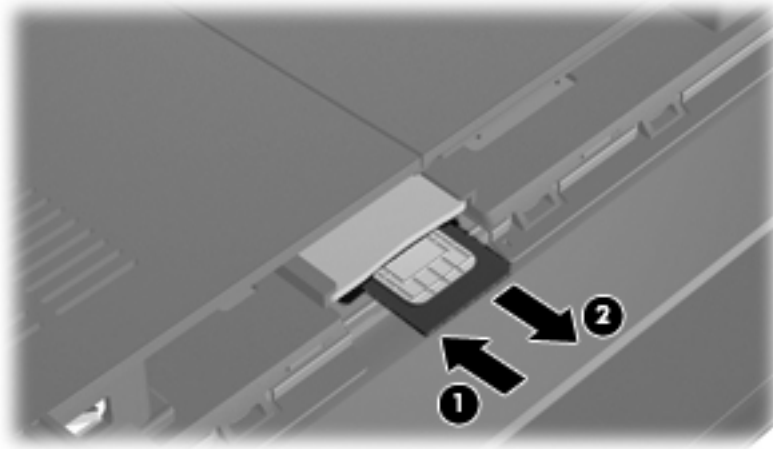
9. 外部電源および必要に応じて外付けデバイスを接続しなおします。
10. 外付けデバイスを接続しなおします。
11. コンピューターの電源を入れます。

SIM の取り出し

SIM を取り出すには、以下の操作を行います。

1. コンピューターをシャットダウンします。コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
2. ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、コンピューターの電源コネクタから AC アダプターを取り外します。
5. バッテリー ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリーを取り外します。

7. SIM をいったんスロットに押し込んで (1)、固定を解除してから取り出します (2)。



8. バッテリーを装着しなおします。
9. 外部電源および必要に応じて外付けデバイスを接続しなおします。
10. 外付けデバイスを接続しなおします。
11. コンピューターの電源を入れます。

Bluetooth 無線デバイスの使用

Bluetooth デバイスによって近距離の無線通信が可能になり、以下のような電子機器の通信手段を従来の物理的なケーブル接続から無線通信に変更できるようになりました。

- コンピューター (デスクトップ、ノートブック、PDA)
- 電話機 (携帯、コードレス、スマートフォン)
- イメージング デバイス (プリンター、カメラ)
- オーディオ デバイス (ヘッドセット、スピーカー)

Bluetooth デバイスは、Bluetooth デバイスの PAN (Personal Area Network) を設定できるピアツーピア機能を提供します。Bluetooth デバイスの設定と使用方法については、Bluetooth ソフトウェアのヘルプを参照してください。

Bluetooth とインターネット接続共有 (ICS)


ホストとして 1 台のコンピューターに Bluetooth を設定し、そのコンピューターをゲートウェイとして利用して他のコンピューターがインターネットに接続できるようにすることは、HP ではおすすめしません。Bluetooth を使用して 2 台以上のコンピューターを接続する場合、インターネット接続共有 (ICS) が可能なのはそのうちの 1 台で、他のコンピューターは Bluetooth ネットワークを利用してインターネットに接続することはできません。

Bluetooth は、お使いのコンピューターと、携帯電話、プリンター、カメラ、および PDA などの無線デバイスとの間で情報をやり取りして同期するような場合に強みを発揮します。Bluetooth および Windows オペレーティング システムでの制約によって、インターネット共有のために複数台のコンピューターを Bluetooth 経由で常時接続しておくことはできません。

無線接続に関する問題のトラブルシューティング

無線接続に関する問題の原因として、以下のようなものが考えられます。

- 無線デバイスのインストールに失敗した、または無線デバイスが無効である。
- 無線デバイスまたはルータのハードウェアが故障した。
- ネットワーク設定（SSID またはセキュリティ）が変更された。
- 無線デバイスが他のデバイスからの干渉を受けている。

 **注記：** 無線ネットワーク デバイスは、一部のモデルにのみ搭載されています。無線ネットワーク機能がコンピューターの基本機能として搭載されていない場合は、無線ネットワーク デバイスを購入してコンピューターに追加することができます。

ネットワーク接続の問題を解決する可能性のある方法を 1 つずつ実行する前に、すべての無線デバイスについて、デバイス ドライバーがインストールされていることを確認してください。

使用したいネットワークに接続できないコンピューターの診断および修復を行うには、この章で説明する手順を実行してください。

無線 LAN 接続を作成できない場合

無線 LAN への接続で問題が発生している場合は、内蔵無線 LAN デバイスがコンピューターに正しく取り付けられていることを確認してください。

1. [スタート]→[マイ コンピューター]の順に選択します。
2. [マイ コンピューター]ウィンドウを右クリックします。
3. [プロパティ]→[ハードウェア]→[デバイス マネージャー]→[ネットワーク アダプター]の順に選択します。
4. ネットワーク アダプター一覧で無線 LAN デバイスを確認します。無線 LAN デバイスの場合は、一覧に [無線]、[無線 LAN]、[WLAN]、[802.11] などと表示されます。

無線 LAN デバイスが表示されない場合は、お使いのコンピューターに無線 LAN デバイスが内蔵されていないか、無線 LAN デバイス用のドライバーが正しくインストールされていません。

無線 LAN のトラブルシューティングについて詳しくは、[ヘルプとサポート]に記載されている Web サイトへのリンクを参照してください。

優先ネットワークに接続できない場合

Windows では、問題のある無線 LAN 接続を自動で修復できます。

- タスクバー右端の通知領域に[ネットワーク ステータス]アイコンがある場合は、そのアイコンを右クリックして、メニューから**[修復]**をクリックします。

Windows は、ネットワーク デバイスをリセットし、優先ネットワークの 1 つに再接続を試みます。

- [ネットワーク ステータス]アイコンの上に[x]が表示されている場合は、1 つ以上の無線 LAN ドライバーまたは LAN ドライバーがインストールされているものの、コンピューター（デバイス）は接続されていない状態です。
- ネットワーク ステータス アイコンが通知領域に表示されていない場合は、以下の操作を行います。
 1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]**の順に選択します。
 2. 目的の接続をクリックします。
 3. 左側の枠内で、**[この接続を修復する]**をクリックします。

[ネットワーク接続]ウィンドウが表示され、Windows は、ネットワーク デバイスをリセットし、優先ネットワークの 1 つに再接続を試みます。

現在のネットワーク セキュリティ コードが使用できない場合

無線 LAN に接続するときにネットワーク キーまたは名前（SSID）の入力を求めるメッセージが表示された場合、そのネットワークはセキュリティ設定によって保護されています。セキュリティ設定で保護されているネットワークに接続するには、現在のコードが必要になります。SSID およびネットワーク キーは半角英数字のコードで、ネットワークに対してお使いのコンピューターを認証します。

- お使いの無線ルータに接続されているネットワークの場合は、そのルータの説明書を参照し、ルータと無線 LAN デバイスの両方に同じ SSID コードを設定します。
- 会社のネットワークや、公開インターネット チャットなどのプライベート ネットワークの場合は、ネットワーク管理者に問い合わせることでそれらのコードを入手し、コードの入力を求める画面が表示されたときに入力します。


ネットワークによっては、ルータやアクセス ポイントで使用されている SSID を定期的に変更して、セキュリティの向上を図っている場合があります。この変更に応じて、対応するコードをお使いのコンピューターで変更する必要があります。

以前に接続したことがあるネットワーク用に新しいネットワーク キーや SSID が提供されている場合、そのネットワークに接続するには、以下の操作を行います。

1. **[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]**の順に選択します。

利用可能な無線 LAN を示す一覧が表示されます。複数の無線 LAN が稼動している無線 LAN スポットにいる場合は、複数の無線 LAN が表示されます。

2. 目的のネットワークを右クリックし、**[プロパティ]**をクリックします。
3. **[ワイヤレス ネットワーク]**タブをクリックします。
4. ネットワークを選択し、**[プロパティ]**をクリックします。

 **注記：** 使用するネットワークが一覧にない場合は、ネットワーク管理者に連絡して、ルータまたはアクセス ポイントが稼働していることを確認してください。

5. **[Association]** (関連付け) タブをクリックし、無線の暗号化に必要なデータを**[ネットワークキー]**フィールドに正しく入力します。
6. **[OK]**をクリックしてこれまでの設定を保存します。

無線 LAN 接続が非常に弱い場合

接続が非常に弱い場合、またはコンピューターが無線 LAN に接続できない場合は、以下の方法を参考に他のデバイスからの干渉を最小化します。

- コンピューターを無線ルータまたはアクセス ポイントに近づけます。
- 干渉を受けないようにするために、電子レンジ、コードレス電話、または携帯電話などのデバイスの電源を一時的に切断します。

接続品質が向上しない場合は、デバイスのすべての接続値が強制的に再設定されるように、以下の操作を行ってみてください。

1. **[コントロール パネル]**→**[ネットワークとインターネット接続]**→**[ネットワーク接続]**の順に選択します。
2. 目的のネットワークを右クリックし、**[プロパティ]**をクリックします。
3. **[ワイヤレス ネットワーク]**タブをクリックします。

利用可能な無線 LAN を示す一覧が表示されます。複数の無線 LAN が稼働している無線 LAN スポットにいる場合は、複数の無線 LAN が表示されます。

4. ネットワークを選択し、**[削除]**をクリックします。

無線ルータに接続できない場合

無線ルータに接続しようとして失敗した場合は、その無線ルータの電源を 10 ~ 15 秒間オフにして、リセットしてください。

それでもコンピューターが無線 LAN に接続できない場合は、無線ルータを再起動してください。詳しくは、ルータの製造元の説明書を参照してください。

ローカル エリア ネットワーク (LAN) への接続

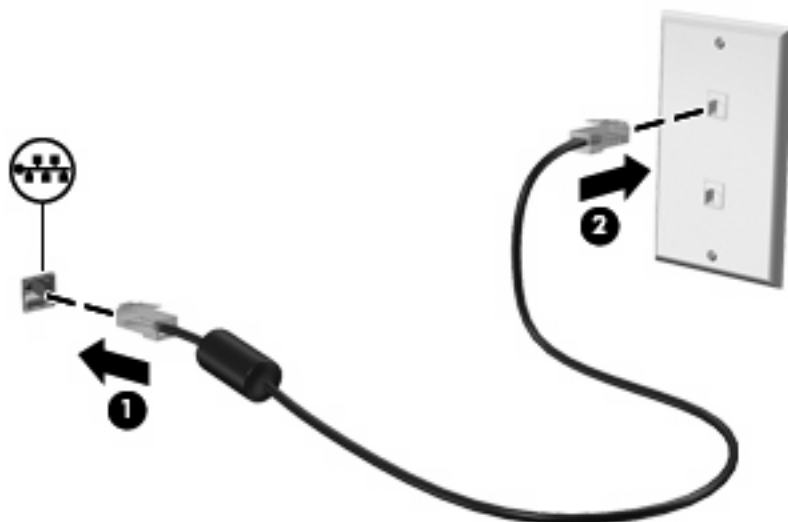
ローカル エリア ネットワーク (LAN) に接続するには、8 ピンの RJ-45 ネットワーク ケーブル (別売) が必要です。ネットワーク ケーブルに、テレビやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コア (1) が取り付けられている場合は、コアが取り付けられているほうのケーブルの端 (2) をコンピューター側に向けます。



ネットワーク ケーブルを接続するには、以下の操作を行います。

△ **警告！** 火傷や感電、火災、装置の損傷を防ぐため、モデム ケーブルまたは電話ケーブルを RJ-45 (ネットワーク) コネクタに接続しないでください。

1. ネットワーク ケーブルをコンピューター本体のネットワーク コネクタに差し込みます (1)。
2. ケーブルのもう一方の端をデジタル モジュラー コンセントに差し込みます (2)。




4 マルチメディア

マルチメディア機能

お使いのコンピューターには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア機能が含まれています。また、以下のようなマルチメディア コンポーネントが含まれている場合があります。

- 音楽を再生する内蔵スピーカー
- 独自のオーディオを録音するための内蔵マイク
- 写真および動画を撮影できる内蔵 Web カメラ
- 音楽、動画および画像の再生と管理を行うことができるプリインストール済みのマルチメディア ソフトウェア


 **注記：** お使いのコンピューターによっては、一覧に記載されていても、一部のコンポーネントが含まれていない場合があります。

ここでは、お使いのコンピューターに含まれているマルチメディア コンポーネントを確認する方法、およびマルチメディア コンポーネントを使用する方法について説明します。

マルチメディア コンポーネントの各部

以下の図と表で、コンピューターのマルチメディア機能について説明します。



名称	説明
(1) Web カメラ ランプ	点灯：Web カメラを使用しています
(2) Web カメラ	静止画像を撮影したり、動画を録画したりします
(3) 内蔵マイク	サウンドを録音します
(4)  オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ/ オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売の電源付きステレオスピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオに接続したときに、サウンドを出力します。別売のヘッドセットマイクも接続します 警告！ 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください 注記： コネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります オーディオ コンポーネントには、4 芯コネクタが装備されている必要があります
(5) スピーカー（×2）	サウンドを出力します

名称	説明
(6)  ミュート（消音）ホットキー	fn キーと組み合わせて押すことによって、スピーカーの音を消します
(7)  音量下げホットキー	fn キーと組み合わせて押すことによって、スピーカーの音量を下げます
(8)  音量上げホットキー	fn キーと組み合わせて押すことによって、スピーカーの音量を上げます

音量の調整

音量の調整には、以下のどれかを使用します。

- コンピューターの音量ホットキー：fn キー（1）と、f8 キー（2）、f10 キー（3）、f11 キー（4）のどれかのファンクションキーとの組み合わせです。
 - 音を消したり音量を元に戻したりするには、fn + f8 キーを押します。
 - 音量を下げるには、fn + f10 キーを押します。
 - 音量を上げるには、fn + f11 キーを押します。



- Windows®の[ボリューム コントロール]：
 - タスクバーの右端にある通知領域の[音量]アイコンをクリックします。
 - 音量を調節するには、スライダーを上下に移動します。[ミュート]チェックボックスにチェックを入れると、音が出なくなります。

-または-

 - 通知領域の[音量]アイコンをダブルクリックします。
 - [ボリューム コントロール]列で音量を調整するには、[音量]スライダーを上下に移動します。バランスの調整やミュートを行うこともできます。

[音量]アイコンが通知領域に表示されない場合は、以下の手順に沿って表示します。

- a. [スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]→[サウンドとオーディオ デバイス]→[音量]タブの順に選択します。
 - b. [タスクバーに音量アイコンを配置する]チェック ボックスにチェックを入れます。
 - c. [適用]をクリックします。
- プログラムの音量調整機能：
プログラムによっては、音量調整機能を持つものもあります。

マルチメディア ソフトウェア

お使いのコンピューターには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。

プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアの使用

プリインストールされているその他のマルチメディア ソフトウェアを確認するには、以下の操作を行います。

- ▲ [スタート]→[すべてのプログラム]の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを起動します。たとえば、[Windows Media Player]（一部のモデルのみ）を使用する場合は、[Windows Media Player]をクリックします。

📖 **注記：** サブフォルダーに含まれているプログラムもあります。

インターネットからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

- ▲ インターネットからマルチメディア ソフトウェアをインストールするには、ソフトウェアの製造元の Web サイトにアクセスし、説明に沿って操作します。

📖 **注記：** インターネットからダウンロードしたソフトウェアにはウイルスが含まれている可能性があります。詳しくは、「セキュリティ」の章を参照してください。

オーディオ

お使いのコンピューターでは、以下のさまざまなオーディオ機能を使用できます。

- コンピューターのスピーカーおよび接続した外付けスピーカーを使用した、音楽の再生
- 内蔵マイクまたは別売のヘッドセットマイクを使用した、サウンドの録音
- インターネットからの音楽のダウンロード
- オーディオと画像を使用したマルチメディアプレゼンテーションの作成
- インスタントメッセージプログラムを使用したサウンドと画像の送信

外付けオーディオ デバイスの接続

△ **警告!** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

外付けスピーカー、ヘッドフォン、ヘッドセットマイクなどの外付けデバイスの接続方法については、デバイスの製造元から提供される情報を参照してください。デバイスを良好な状態で使用できるよう、以下の点に注意してください。

- デバイスケーブルが、オーディオ出力（ヘッドフォン）およびオーディオ入力（マイク）の両方をサポートする4芯コネクタを備えていることを確認します。
- デバイスケーブルがお使いのコンピューターの適切なコネクタにしっかりと接続されていることを確認します（通常、ケーブルコネクタは、コンピューターの対応するコネクタに合わせて色分けされています）。
- 外付けデバイスに必要なドライバーがある場合は、そのドライバーをインストールします。

📖 **注記:** ドライバーは、デバイスとデバイスが使用するプログラム間のコンバーターとして機能する、必須のプログラムです。

オーディオ機能の確認


お使いのコンピューターのシステムサウンドを確認するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]→[サウンドとオーディオ デバイス]の順に選択します。
2. [サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ]ウィンドウが開いたら、[サウンド]タブをクリックします。[プログラム イベント]でビープやアラームなどの任意のサウンドイベントを選択してから、矢印ボタンをクリックしてサウンドをチェックします。

スピーカーまたは接続したヘッドフォンから音が鳴ります。

デバイスの録音機能を確認するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[エンターテイメント]→[サウンド レコーダー]の順に選択します。
2. [録音]ボタンをクリックし、マイクに向かって話します。デスクトップにファイルを保存します。
3. マルチメディアプログラムを開き、サウンドを再生します。

 **注記：** 良好な録音結果を得るため、直接マイクに向かって話し、雑音がないように設定して録音します。

- ▲ コンピューターのオーディオ設定を確認または変更するには、タスクバー上の[音量]アイコンを右クリックするか、[スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声、およびオーディオデバイス]→[サウンドとオーディオ デバイス]の順に選択します。

動画

お使いのコンピューターでは、以下のさまざまな動画機能を使用できます。

- 動画の再生
- インターネットを介したゲーム
- プレゼンテーションの作成のための画像や動画の編集
- 外付けビデオ デバイスの接続

外付けモニターまたはプロジェクターの接続

モニターやプロジェクターなどの外付けディスプレイは、VGA ケーブル（別売）を使用してコンピューターの外付けモニター コネクタに接続します。

外付けモニターまたはプロジェクターを接続するには、以下の操作を行います。

1. 別売の VGA ケーブルをコンピューターの外付けモニター コネクタに接続します。



2. ケーブルのもう一方の端を外付けモニターまたはプロジェクターに接続します。

注記： 正しく接続された外付けモニターまたはプロジェクターの画面に画像が表示されない場合は、**fn + f2** キーを押して画像をその外付けディスプレイに転送します。**fn + f2** キーを繰り返し押すと、表示画面が外付けディスプレイとコンピューターとの間で切り替わります。

HDMI デバイスの接続

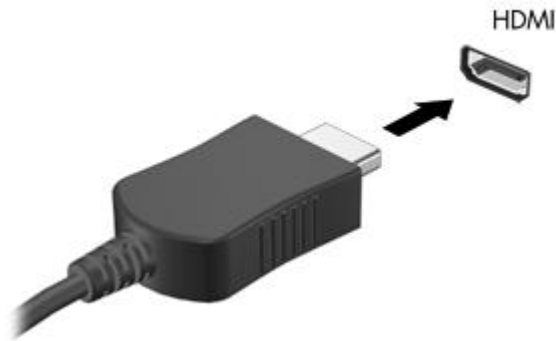
コンピューターには、HDMI（High Definition Multimedia Interface）コネクタが搭載されています。HDMI コネクタは、HD 対応テレビ、対応しているデジタルまたはオーディオ コンポーネントなどの別売の動画またはオーディオ デバイスとコンピューターを接続するためのコネクタです。

注記： HDMI コネクタを使用して動画信号を伝送するには、HDMI ケーブル（別売）が必要です。

コンピューターは、HDMI コネクタに接続されている 1 つの HDMI デバイスをサポートすると同時に、コンピューター本体のディスプレイまたはサポートされている他の外付けディスプレイの画面をサポートできます。

HDMI コネクタに動画またはオーディオ デバイスを接続するには、以下の操作を行います。

1. HDMI ケーブルの一方の端をコンピューターの HDMI コネクタに接続します。



2. 製造元の説明書等の手順に沿って操作し、ケーブルのもう一方の端をビデオ デバイスに接続します。
3. コンピューターに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、コンピューターの **fn + f2** キーを押します。

HDMI 用のオーディオの設定（一部のモデルのみ）

HDMI オーディオを設定するには、まず、お使いのコンピューターの HDMI コネクタに HD 対応テレビなどのオーディオまたはビデオ デバイスを接続します。次に、以下の手順でオーディオ再生の初期デバイスを設定します。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[スピーカー]アイコンを右クリックし、[再生デバイス]をクリックします。
2. [再生]タブで[デジタル出力]または[デジタル出力デバイス (HDMI)]をクリックします。
3. [初期設定値に設定]→[OK]の順にクリックします。

オーディオをコンピューターのスピーカーに戻すには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[スピーカー]アイコンを右クリックし、[再生デバイス]をクリックします。
2. [再生]タブで[スピーカー]をクリックします。
3. [初期設定値に設定]→[OK]の順にクリックします。

Web カメラ

お使いのコンピューターには、ディスプレイの上部に Web カメラが内蔵されています。Web カメラは、静止画像および動画の撮影を可能にする入力デバイスです。

📖 **注記：** 動画を録画するには、Web カメラ ソフトウェアを追加インストールする必要があります。

Web カメラにアクセスするには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[マイ コンピューター]の順に選択し、カメラのアイコンをダブルクリックします。
2. 画像を撮影するには、[Take a new picture]（新しい画像の撮影）をクリックします。

📖 **注記：** 画像は[マイ ドキュメント]フォルダーに自動的に保存されます。

5 ドライブと外付けデバイス

ドライブ

取り付けられているドライブの確認

お使いのコンピューターには、(回転式ディスクを搭載した) ハードドライブまたはソリッドステートメモリを搭載した SSD (Solid State Drive) が搭載されています。SSD は、駆動部品を持たないため、ハードドライブほど熱を発生しません。

コンピューターに取り付けられているドライブを表示するには、[スタート]→[マイ コンピューター]の順に選択します。

ドライブの取り扱い

ドライブは壊れやすいコンピューター部品ですので、取り扱いには注意が必要です。ドライブの取り扱いについては、以下の注意事項を参照してください。必要に応じて、追加の注意事項および関連手順を示します。

△ **注意：** コンピューターやドライブの損傷、または情報の損失を防ぐため、以下の点に注意してください。

外付けハードドライブに接続したコンピューターをある場所から別の場所へ移動させるような場合は、事前にスタンバイを起動して画面表示が消えるまで待つか、外付けハードドライブを適切に取り外してください。

ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。

リムーバブル ドライブまたはコンピューターのコネクタ ピンに触れないでください。

ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落としたり上に物を置いたりしないでください。

ドライブの着脱を行う前に、コンピューターの電源を切ります。コンピューターの電源が切れているのか、スタンバイ状態なのか、またはハイバネーション状態なのかわからない場合は、まずコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ドライブをドライブ ベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。

オプティカル ドライブ（一部のモデルのみ）内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピューターを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

バッテリーのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前にバッテリーが十分に充電されていることを確認してください。

高温または多湿の場所にドライブを放置しないでください。

ドライブに洗剤などの液体を垂らさないでください。また、ドライブに直接、液体クリーナーなどを吹きかけないでください。

ドライブ ベイからのドライブの取り外し、ドライブの持ち運び、郵送、保管などを行う前に、ドライブからメディアを取り出してください。

ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。

ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をチェックするベルト コンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使用してチェックを行うので、ドライブには影響しません。

ハードドライブ パフォーマンスの向上

ディスク デフラグの使用

コンピューターを使用しているうちに、ハードドライブ上のファイルが断片化されてきます。ディスク デフラグを行うと、ハードドライブ上の断片化したファイルやフォルダーを集めてより効率よく作業を実行できるようになります。

ディスク デフラグを実行するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク デフラグ]の順に選択します。
2. [ボリューム]の一覧で目的のハードドライブ（通常は (C:)）をクリックし、[最適化]をクリックします。

詳しくは、ディスク デフラグ ツール ソフトウェアのヘルプを参照してください。

ディスク クリーンアップの使用

ディスク クリーンアップを行うと、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、より効率よく作業を実行できるようになります。

ディスク クリーンアップを実行するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]→[ディスク クリーンアップ]の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

ハードドライブ ベイ内のハードドライブの交換

△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の点に注意してください。

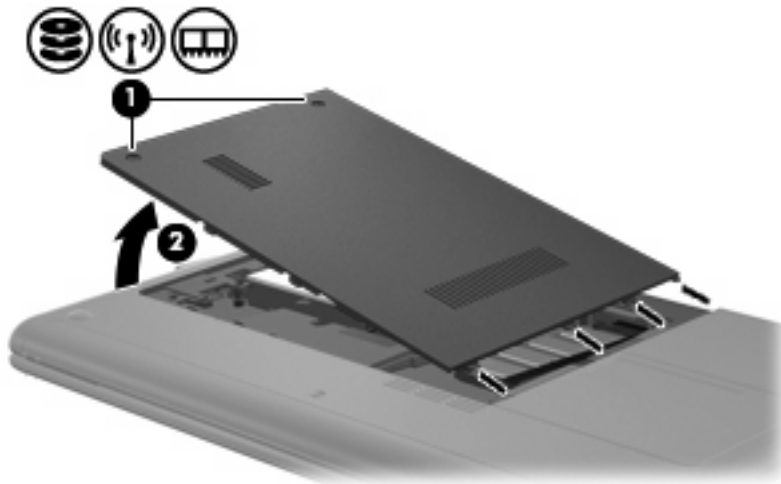
ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピューターをシャットダウンしてください。コンピューターの電源が入っているときや、スタンバイまたはハイバネーション状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。

コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

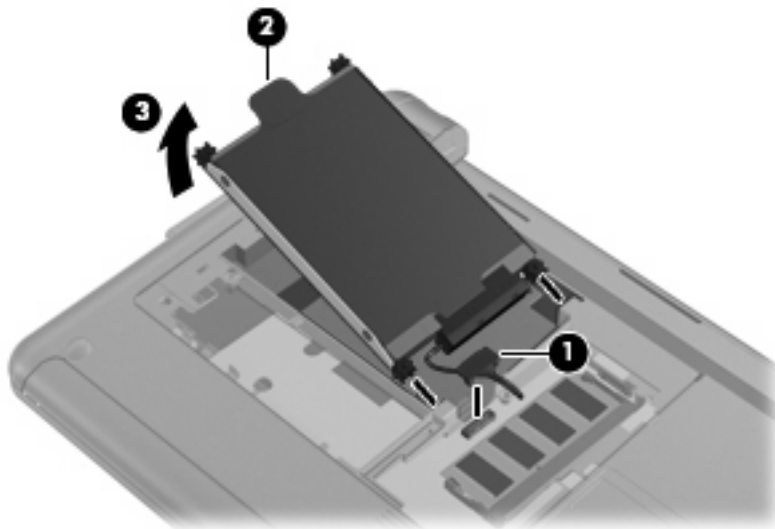
ハードドライブを取り外すには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、コンピューターの電源コネクタから AC アダプターを取り外します。
5. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
6. コンピューターからバッテリーを取り外します。
7. ハードドライブ ベイが手前になるように置き、ハードドライブ カバーの 2 つのネジ (1) を緩めます。

8. ハードドライブ カバーを持ち上げて (2)、コンピューターから取り外します。



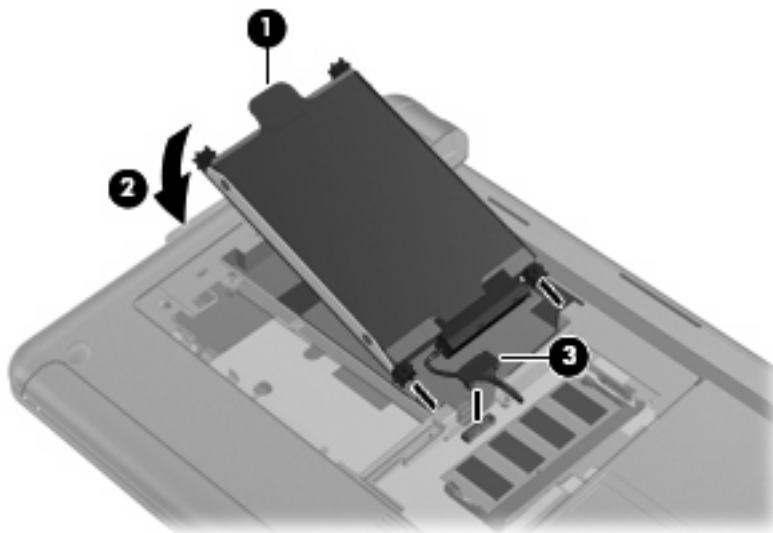
9. ハードドライブをコンピューターに固定しているハードドライブ ケーブル (1) を取り外します。
10. ハードドライブ タブ (2) を引き上げ、ハードドライブをハードドライブ ベイから取り出します (3)。



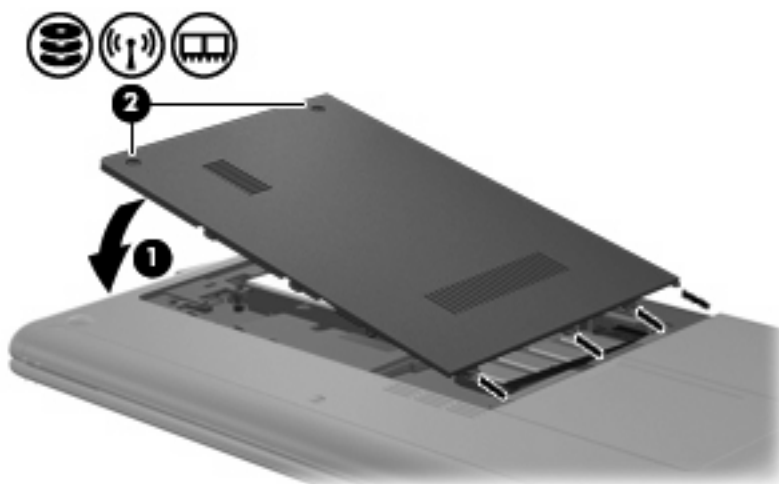
ハードドライブを取り付けるには、以下の操作を行います。

1. ハードドライブ タブ (1) をつかみ、ハードドライブをハードドライブ ベイに挿入し (2)、ゴムのストッパをスライドさせて所定の位置に固定します。

2. ハードドライブ ケーブル (3) を取り付けなおします。



3. ハードドライブ カバーのタブとコンピューターの切り込みを合わせてカバーを閉じます (1)。
4. ハードドライブ カバーの 2 つのネジ (2) を締めます。




外付けドライブの使用

外付けのリムーバブルドライブを使用すると、情報を保存したり、情報にアクセスしたりできる場所が増えます。

USB ドライブには、以下のような種類があります。

- 1.44 MB フロッピー ディスク ドライブ
- ハードドライブ モジュール (アダプターが装備されているハードドライブ)
- DVD-ROM ドライブ
- DVD/CD-RW コンボ ドライブ
- DVD±RW および CD-RW コンボ ドライブ

- スーパーマルチ DVD±RW/CD-RW コンボ ドライブ (2層記録 (DL) 対応)
- LightScribe スーパーマルチ DVD±RW/CD-RW コンボ ドライブ (2層記録 (DL) 対応)
- ブルーレイ ROM DVD±R/RW スーパー マルチ ドライブ (2層記録 (DL) 対応)
- LightScribe/スーパー マルチ DVD±R/RW 対応ブルーレイ ROM ドライブ (2層記録 (DL) 対応)
- HD DVD ドライブ

 **注記:** 必要なソフトウェアやドライバー、および使用するコンピューターのコネクタの種類について詳しくは、デバイスに付属の説明書を参照してください。


外付けドライブをコンピューターに接続するには、以下の操作を行います。

△ **注意:** 装置が損傷することを防ぐため、別電源が必要なドライブを接続するときは、ドライブの電源コードを差し込んでいないことを確認してください。

1. ドライブをコンピューターに接続します。
2. 別電源が必要なドライブを接続した場合は、ドライブの電源コードを、接地した外部電源のコンセントに差し込みます。


別電源が必要なドライブを取り外すときは、コンピューターからドライブを取り外した後、ドライブの外部電源コードを抜きます。

別売の外付けドライブの接続

 **注記:** 必要なソフトウェアやドライバー、および使用するコンピューターのコネクタの種類について詳しくは、デバイスに付属の説明書を参照してください。

外付けドライブをコンピューターに接続するには、以下の操作を行います。

△ **注意:** 装置が損傷することを防ぐため、別電源が必要なドライブを接続するときは、ドライブの電源が切れ、外部電源コードが抜けていることを確認してください。


 **注記:** 外付けオプティカルドライブは、ハブやドッキングステーションなどにある他の外付けデバイスの USB コネクタではなく、**コンピューター本体の** USB コネクタに接続する必要があります。

1. ドライブをコンピューターに接続します。
2. 別電源が必要なドライブを接続した場合は、ドライブの電源コードを、接地した外部電源のコンセントに差し込みます。
3. ドライブの電源を入れます。

別電源が必要でない外付けドライブを取り外すときは、ドライブの電源を切り、コンピューターから取り外します。別電源が必要な外付けドライブを取り外すときは、ドライブの電源を切り、コンピューターからドライブを取り外した後、ドライブの外部電源コードを抜きます。

オプティカルドライブの共有

お使いのコンピューターにはオプティカルドライブは装備されていませんが、同じ有線または無線ネットワーク上にあるオプティカルドライブ装備の別のコンピューターとオプティカルドライブを共有すると、ソフトウェアへのアクセスやプログラムのインストール、およびデータへのアクセスが簡単に行えます。ドライブの共有は Windows オペレーティングシステムの機能であり、これによって、ユーザーは別のコンピューターのドライブをネットワーク上で使用できるようになります。

 **注記：** ホーム ネットワークのセットアップおよびドライブの共有については、[ヘルプとサポート] を参照してください。

注記： DVD ムービーやゲーム ディスクといった種類のディスクはコピーが防止されている場合があります。その場合、DVD または CD を共有して使用することはできません。

外付けデバイス

USB (Universal Serial Bus) デバイスの使用

USB (Universal Serial Bus) は、USB キーボード、マウス、ドライブ、プリンター、スキャナー、ハブなどの別売の外付けデバイスを接続するためのハードウェア インタフェースです。デバイスは、コンピューター、別売のドッキング デバイス、または別売の拡張製品に接続することができます。

USB デバイスには、追加サポート ソフトウェアを必要とするものがありますが、通常はデバイスに付属しています。デバイス固有のソフトウェアについては、デバイスに付属の操作説明書を参照してください。

コンピューターには 3 つまたは 4 つの USB コネクタがあり、USB 1.0、USB 1.1、および USB 2.0 の各デバイスに対応しています。別売の USB ハブ、別売のドッキング デバイス、または別売の拡張製品には、コンピューターで使用できる USB コネクタが装備されています。

USB デバイスの接続

△ **注意：** USB コネクタの損傷を防ぐため、USB デバイスの接続時に必要以上の力を加えないでください。

▲ USB デバイスをコンピューターに接続するには、デバイスの USB ケーブルを USB ポートに接続します。



デバイスが検出されると音が鳴ります。

☞ **注記：** USB デバイスを接続すると、通知領域にシステムがデバイスを認識したことを示すメッセージが表示されます。


USB デバイスの取り外し

△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の操作を行って USB デバイスを安全に取り外します。


注意： USB コネクタの損傷を防ぐため、USB デバイスの取り外し時にケーブルを引っ張らないでください。

USB デバイスを取り外すには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンをクリックします。

 **注記：** タスクバーに[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンを表示するには、[隠れているインジケータを表示します]アイコン（通知領域の左側にある矢印）をクリックします。

2. 一覧からデバイス名をクリックします。

 **注記：** ハードウェア デバイスを安全に取り外すことができるというメッセージが表示されません。

3. デバイスを取り外します。

メディア カードの使用

別売のメディア カードは、データを安全に格納し、簡単にデータを共有できるカードです。これらのカードは、他のコンピューター以外にも、デジタル メディア対応のカメラや PDA などによく使用されます。

お使いのコンピューターのメディア カード スロットは、以下のフォーマットのメディア カードに対応しています。

- メモリースティック (MS)
- メモリースティック PRO (MS/Pro)
- マルチメディアカード (MMC)
- SD (Secure Digital) メモリ カード
- SDHC (Secure Digital High Capacity) メモリ カード
- xD ピクチャーカード (XD)
- xD ピクチャーカード (XD) Type H
- xD ピクチャーカード (XD) Type M

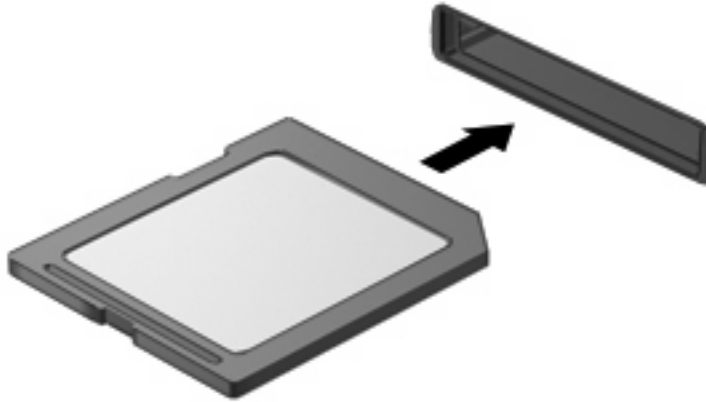
メディア カードの挿入

△ **注意：** メディア カードまたはコンピューターの損傷を防ぐため、メディア スロットにはどのような種類のアダプターも挿入しないでください。

注意： メディア カード コネクタの損傷を防ぐため、メディア カードの挿入時に必要以上の力を加えないでください。

1. メディア カードのラベルを上にし、コネクタをコンピューター側に向けて持ちます。

2. メディア スロットにカードを挿入し、カードがしっかりと収まるまで押し込みます。



デバイスが検出されると音が鳴り、場合によっては使用可能なオプションのメニューが表示されます。

メディア カードの停止と取り出し

△ **注意：** データの消失やシステムの応答停止を防ぐため、メディア カードを取り出す前にカードを停止してください。

1. 情報を保存し、メディア カードに関連するすべてのプログラムを閉じます。

☞ **注記：** データ転送を停止するには、オペレーティング システムの[コピーしています]ウィンドウで[キャンセル]をクリックします。

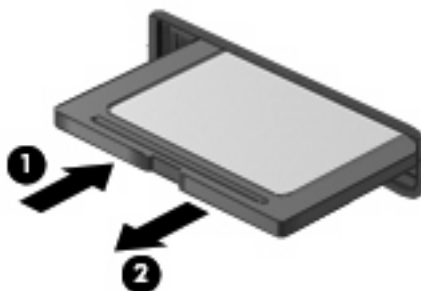
2. メディア カードを停止します。

- a. タスクバーの右端にある通知領域の[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをダブルクリックします。

☞ **注記：** [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを表示するには、通知領域の[隠れているインジケータを表示します]アイコン ([<]または[<<]) をクリックします。

- b. 一覧からメディア カード名をクリックします。
- c. [停止]をクリックし、[OK]をクリックします。

3. メディアカードを押して固定を解除し (1)、カードを引いてスロットから取り出します (2)。



6 メモリ モジュール

コンピューターのハードドライブ ベイ内には、1 基のメモリ モジュール スロットが装備されています。コンピューターのメモリを増設するには、装着されているメモリ モジュールを交換します。

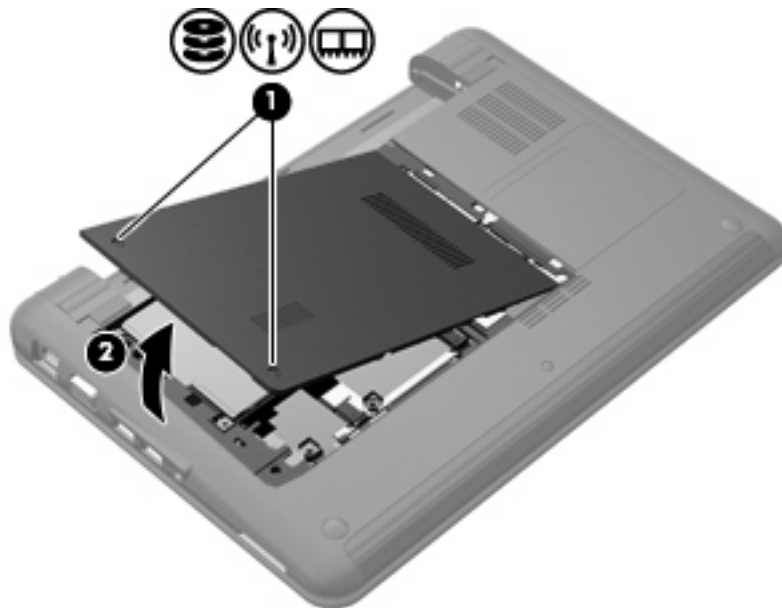
- △ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、電源コードとすべてのバッテリーを取り外してからメモリ モジュールを取り付けてください。
- △ **注意：** 静電気 (ESD) によって電子部品が損傷することがあります。作業を始める前に、アースされた金属面に触るなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

メモリ モジュールを交換するには、以下の操作を行います。

1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。

コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、コンピューターの電源コネクタから AC アダプターを取り外します。
5. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
6. コンピューターからバッテリーを取り外します。
7. 小さいネジ回しを使用して、ハードドライブ カバーの 2 つのネジ (1) を緩めます。

8. ハードドライブ カバーを持ち上げて (2)、コンピューターから取り外します。



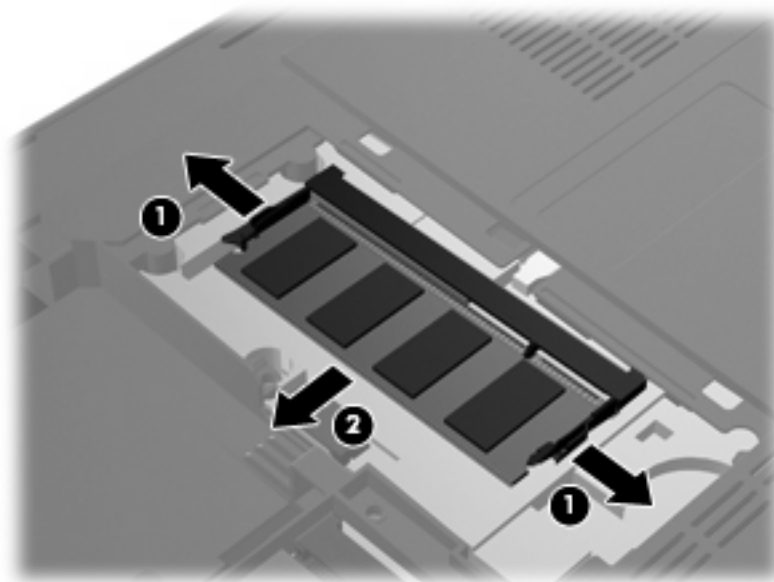
9. 以下の操作を行って、既存のメモリ モジュールを取り外します。

- a. メモリ モジュールの両側にある留め具を左右に引っ張ります (1)。

メモリ モジュールが少し上に出てきます。

△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。

- b. メモリ モジュールの左右の端をつかみ、そのままゆっくりと斜め上に引き抜いて (2) 取り外します。

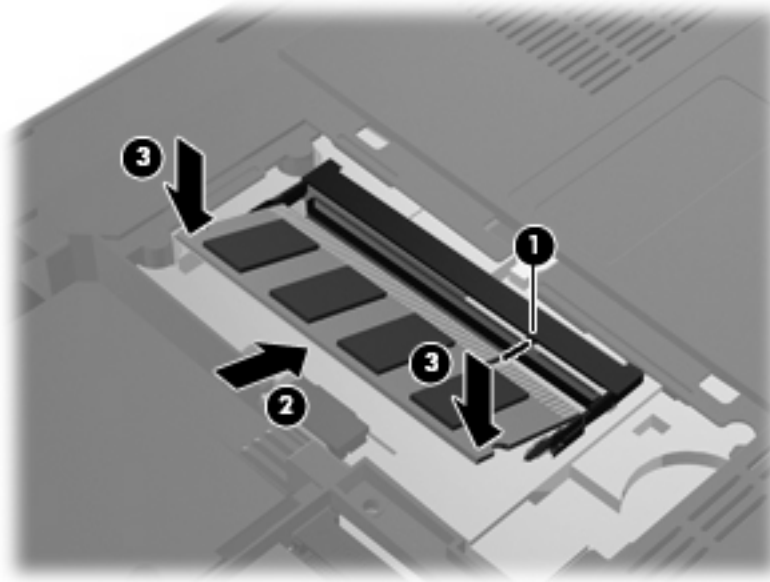


取り外したメモリ モジュールは、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。

10. 以下の要領で、新しいメモリ モジュールを取り付けます。

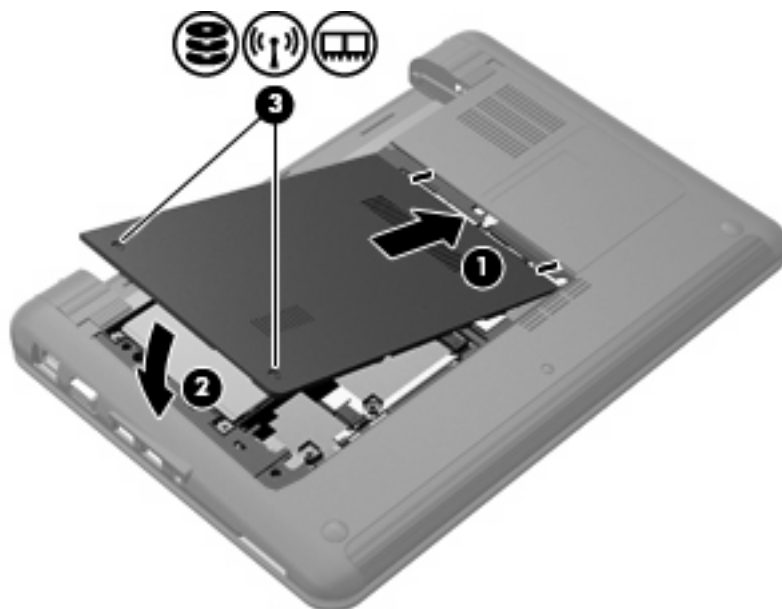
△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分に触ったり、メモリ モジュールを折り曲げたりしないように注意してください。

- a. メモリ モジュールの切り込みとメモリ モジュール スロット (1) を合わせます。
- b. しっかりと固定されるまでメモリ モジュールを 45° の角度でスロットに押し込み、所定の位置に収まるまでメモリ モジュールを押し下げます (2)。
- c. カチッと音がして留め具がメモリ モジュールを固定するまで、メモリ モジュールの左右の端をゆっくりと押し下げます (3)。



11. ハードドライブ カバーのタブとコンピューターの切り込みを合わせて (1)、カバーを閉じます (2)。

12. ハードドライブ カバーの2つのネジ (3) を締めます。



13. バッテリーを装着しなおします。
14. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
15. コンピューターの電源を入れます。

7 ポインティング デバイスおよびキーボード

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ


[マウスのプロパティ]にアクセスするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンターとその他のハードウェア]→[マウス]の順に選択します。

ボタンの構成、クリック速度、ポインター オプションのような、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows の[マウスのプロパティ]を使用します。

ポインティング デバイスの使用

タッチパッドの使用

タッチパッドのボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。タッチパッドのスクロールゾーンを使用して画面を上下にスクロールするには、スクロールゾーンの線上で指を上下にスライドさせます。

 **注記：** ポインターの移動にタッチパッドを使用している場合、まずタッチパッドから指を離し、その後でスクロールゾーンに指を置きます。タッチパッドからスクロールゾーンへ指を動かすだけでは、スクロール機能はアクティブになりません。

外付けマウスの接続

USB コネクタのどれかを使用して外付け USB マウスをコンピューターに接続できます。









キーボードの使用

ホットキーの使用

ホットキーは、fn キー (1) とファンクションキー (2) のうちの1つとの組み合わせです。

f1 ~ f4、f6、f8、f10、および f11 の各キーのアイコンは、ホットキーの機能を表しています。ホットキーの機能および操作についてこの章の各項目で説明します。



機能	ホットキー
 スタンバイを起動する	fn + f1
 画面を切り替える	fn + f2
 画面輝度を下げる	fn + f3
 画面輝度を上げる	fn + f4
 [QuickLock]を開始する	fn + f6
 スピーカーの音を消したり元に戻したりする	fn + f8
 スピーカーの音量を下げる	fn + f10
 スピーカーの音量を上げる	fn + f11

コンピューターのキーボードでホットキー コマンドを使用するには、以下のどちらかの操作を行います。

- 短く fn キーを押してから、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押します。
または
- fn キーを押しながら、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押し、両方のキーを同時に離します。


スタンバイを起動する

△ **注意：** 情報の損失を防ぐため、スタンバイを起動する前に必ずデータを保存してください。

スタンバイを起動するには、fn + f1 を押します。


スタンバイを起動すると、情報がメモリに保存され、画面表示が消えて節電モードになります。コンピューターがスタンバイ状態の間は、電源ランプが点滅します。

スタンバイを起動する前に、コンピューターの電源がオンになっている必要があります。

 **注記：** コンピューターがスタンバイ状態のときに完全なロー バッテリー状態になった場合は、ハイバネーションが起動し、メモリに保存された情報がハードドライブに保存されます。完全なロー バッテリー状態になった場合、工場出荷時設定ではハイバネーションが起動しますが、この設定は電源の詳細設定で変更できます。


スタンバイを終了するには、電源ボタンを短く押します。

fn + f1 ホットキーの機能は変更することができます。たとえば、スタンバイではなくハイバネーションが起動するように **fn + f1** ホットキーを設定することもできます。

 **注記：** Windows オペレーティング システムのウィンドウでのスリープ ボタンに関する記述はすべて、**fn + f1** ホットキーに当てはまります。

画面を切り替える

システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、**fn + f2** キーを押します。たとえば、コンピューターに外付けモニターを接続している場合に **fn + f2** キーを押すと、コンピューター本体のディスプレイ、外付けモニターのディスプレイ、コンピューター本体と外付けモニターの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります。

 **注記：** モニターやプロジェクターなどの外付けディスプレイは、VGA ケーブル（別売）を使用してコンピューターの外付けモニター コネクタに接続する必要があります。

ほとんどの外付けモニターは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピューターからビデオ情報を受け取ります。**fn + f2** ホットキーでは、コンピューターからビデオ情報を受信する他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます。

以下のビデオ伝送方式が **fn + f2** ホットキーでサポートされます。カッコ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD（コンピューター本体のディスプレイ）
- 外部 VGA（ほとんどの外付けモニター）
- HDMI（HDMI コネクタを備えたテレビ、ビデオ カメラ、DVD プレーヤー、ビデオ デッキ、ビデオ キャプチャ カード）

画面の輝度を下げる

fn + f3 ホットキーを押すと、画面の輝度を下げることができます。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に下がります。


画面の輝度を上げる

fn + f4 ホットキーを押すと、画面の輝度を上げることができます。このホットキーを押し続けると、輝度が一定の割合で徐々に上がります。

[QuickLock]を開始する

fn + f6 ホットキーを押すと、[QuickLock]のセキュリティ機能が起動します。

[QuickLock]はオペレーティング システムの[ログオン]ウィンドウを表示して、情報を保護します。[ログオン]ウィンドウが表示されているときには、Windows のユーザー パスワードまたは Windows の管理者パスワードが入力されるまでコンピューターにアクセスできません。

 **注記：** [QuickLock]を使用する前に、Windows のユーザー パスワード、または Windows の管理者パスワードを設定する必要があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

[QuickLock]を使用するには、**fn + f6** キーを押して[ログオン]ウィンドウを表示し、コンピューターをロックします。コンピューターにアクセスするには、画面の説明に沿って Windows のユーザー パスワードまたは Windows の管理者パスワードを入力します。

スピーカーの音を消す

fn + f8 を押してスピーカーの音を消します。スピーカーの音量を元に戻すには、もう一度ホットキーを押します。

スピーカーの音量を下げる

fn + f10 を押してスピーカーの音量を下げます。このホットキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に下がります。

スピーカーの音量を上げる

fn + f11 を押してスピーカーの音量を上げます。このホットキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に上がります。

8 電源の管理

電源オプションの設定

省電力設定の使用

お使いのコンピューターでは、2つの省電力設定が出荷時に有効になっています。スタンバイおよびハイバネーションです。

スタンバイを起動すると、電源ランプが点滅して画面表示が消えます。作業中のデータがメモリに保存されます。スタンバイを終了するときはハイバネーションを終了するときよりも早く作業に戻れます。コンピューターが長時間スタンバイ状態になった場合、またはスタンバイ状態のときにバッテリーが完全なローバッテリー状態になった場合は、ハイバネーションを起動します。

ハイバネーションを起動すると、データがハードドライブのハイバネーション ファイルに保存されて、コンピューターの電源が切れます。

△ **注意：** オーディオおよびビデオの劣化、再生機能の損失、または情報の損失を防ぐため、ディスクや外付けメディアカードの読み取りまたは書き込み中に、スタンバイまたはハイバネーションを起動しないでください。

☞ **注記：** コンピューターがスタンバイまたはハイバネーション状態の場合は、ネットワーク接続やコンピューター機能の実行が一切できなくなります。

スタンバイの起動および終了

システムは、バッテリー電源の使用時に操作しない状態が10分続いた場合、外部電源の使用時に操作しない状態が25分続いた場合に、スタンバイを起動するように出荷時に設定されています。

電源設定およびタイムアウトは、Windowsの[コントロール パネル]にある[電源オプション]で変更できます。

コンピューターの電源が入っている状態で、以下のどちらかの方法でスタンバイを起動できます。

- fn + f1 キーを押します。
- [スタート]→[終了オプション]→[スタンバイ]の順に選択します。

スタンバイを終了するには、以下の操作を行います。


- ▲ 電源ボタンを短く押します。

コンピューターがスタンバイを終了すると、電源ランプが点灯し、作業を中断した時点の画面に戻ります。

☞ **注記：** コンピューターがスタンバイを終了するときにパスワードの入力を要求するように設定した場合は、作業画面に戻る前にWindowsパスワードを入力する必要があります。

ハイバネーションの起動および終了

システムは、バッテリー電源の使用時に操作しない状態が 30 分続いた場合、または完全なロー バッテリー状態に達した場合に、ハイバネーションを起動するように出荷時に設定されています。

 **注記：** 外部電源の使用時には、ハイバネーションは起動されません。

注記： 情報の損失を防ぐため、作業データを定期的に保存してください。

電源設定およびタイムアウトは、Windows の[コントロール パネル]にある[電源オプション]で変更できます。

ハイバネーションを起動するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[終了オプション]の順に選択します。
2. **shift** キーを押しながら[休止状態]を選択します。


または

- ▲ コンピューターの電源が入っている場合は、電源ボタンを短く押します。

ハイバネーションを終了するには、以下の操作を行います。

- ▲ 電源ボタンを短く押します。

コンピューターがハイバネーションを終了すると、電源ランプが点灯し、作業を中断した時点の画面に戻ります。

 **注記：** ハイバネーションを終了するときパスワードの入力を要求するように設定した場合は、作業画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

電源設定の使用

電源設定は、コンピューターの電源の使用方法を管理するための、システム設定の集合です。電源設定によって、電力を節約し、コンピューターのパフォーマンスを最大限に向上させることができます。

以下の電源設定を利用できます。

- ポータブル/ラップトップ（推奨）
- 自宅または会社のデスク
- プレゼンテーション
- 常にオン
- 最小の電源管理
- バッテリーの最大利用

これらの電源設定の設定は[電源オプション]で変更できます。

現在の設定の表示

- ▲ タスクバーの右端にある通知領域の[電源メーター]アイコンをクリックします。

-または-

[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。

異なる電源設定の選択

- ▲ タスクバーの右端にある通知領域の[電源メーター]アイコンをクリックし、一覧から電源設定を選択します。

-または-

- [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。
- [電源設定]リストから電源設定を選択します。
- [OK]をクリックします。

電源設定のカスタマイズ

- [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。
- [電源設定]リストから電源設定を選択します。
- [電源に接続]および[バッテリー使用]の設定を必要に応じて変更します。
- [OK]をクリックします。

スタンバイ終了時のパスワード保護の設定

スタンバイの終了時にパスワードの入力を要求するようにコンピューターを設定するには、以下の操作を行います。

- 通知領域の[電源メーター]アイコンを右クリックし、[電源プロパティの調整]をクリックします。
- [詳細設定]タブをクリックします。
- [スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める]チェック ボックスにチェックを入れます。
- [適用]をクリックします。

外部電源の使用

外部電源は、以下のどちらかのデバイスを通じて供給されます。

- △ **警告!** 安全に関する問題の発生を防ぐため、コンピューターを使用する場合は、コンピューターに付属している AC アダプター、HP が提供する交換用 AC アダプター、または HP から購入した対応する AC アダプターだけを使用してください。

- 認定された AC アダプター
- 別売のドッキング デバイスまたは別売の拡張製品

以下のどれかの条件にあてはまる場合はコンピューターを外部電源に接続してください。

△ **警告！** 航空機内でコンピューターのバッテリーを充電しないでください。

- バッテリー充電するか、バッテリー ゲージを調整する場合
- システム ソフトウェアをインストールまたは変更する場合
- CD または DVD に情報を書き込む場合

コンピューターを外部電源に接続すると、以下のようになります。

- バッテリーの充電が開始されます。
- コンピューターの電源が入ると、通知領域の[電源メーター]アイコンの表示が変わります。

外部電源の接続を外すと、以下のようになります。

- コンピューターの電源がバッテリーに切り替わります。
- バッテリー電源を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。ディスプレイの輝度を上げるには、**fn + f4** ホットキーを押すか、AC アダプターを接続しなおします。

AC アダプターの接続

△ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

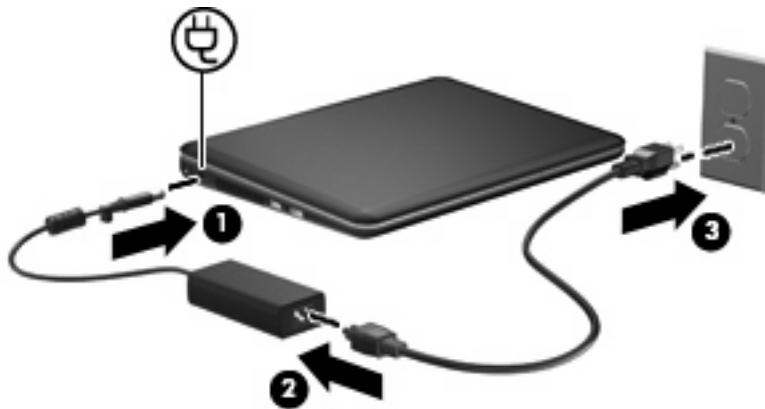
電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに差し込んでください。

コンピューターへの外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コードをコンピューターからではなくコンセントから抜いてください。

安全に使用するため、必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。2 ピンのアダプターを接続するなどして電源コードのアース端子を無効にしないでください。アース端子は重要な安全上の機能です。

コンピューターを外部電源に接続するには、以下の操作を行います。


1. AC アダプターをコンピューターの電源コネクタに差し込みます (1)。
2. 電源コードを AC アダプターに差し込みます (2)。
3. 電源コードのもう一方の端を電源コンセントに差し込みます (3)。




バッテリー電源の使用

充電済みのバッテリーが装着され、外部電源に接続されていない場合、コンピューターはバッテリー電源で動作します。外部電源に接続されている場合、コンピューターは外部電源で動作します。

充電済みのバッテリーを装着したコンピューターがACアダプターから電力が供給される外部電源で動作している場合、ACアダプターを取り外すと、電源がバッテリー電源に切り替わります。

 **注記：** 外部電源の接続を外すと、バッテリー電源を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。ディスプレイの輝度を上げるには、**fn + f4** ホットキーを使用するか、ACアダプターを接続しなおします。

作業環境に応じて、バッテリーをコンピューターに装着しておくことも、ケースに保管しておくことも可能です。コンピューターを外部電源に接続している間、常にバッテリーを装着しておけば、バッテリーは充電されていて、停電した場合でも作業データを守ることができます。ただし、バッテリーをコンピューターに装着したままにしておくと、コンピューターを外部電源に接続していない場合は、コンピューターがオフのときでもバッテリーは徐々に放電していきます。

 **警告！** 安全に関する問題の発生を防ぐため、この製品を使用する場合は、コンピューターに付属しているバッテリー、HPが提供する交換用バッテリー、またはHPから購入した対応するバッテリーを使用してください。

コンピューターのバッテリーは消耗品で、その寿命は、電源管理の設定、コンピューターで動作しているプログラム、画面の輝度、コンピューターに接続されている外付けデバイス、およびその他の要素によって異なります。

バッテリー充電残量の表示

▲ タスクバーの右端にある通知領域の**[電源メーター]**アイコンをダブルクリックします。

-または-


[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[電源メーター]タブの順に選択します。

ほとんどの場合、充電情報には、バッテリーの状態がバッテリー残量のパーセントと残りの使用可能時間(分)で示されます。

- パーセントは、バッテリーの電力の推定残量を示します。
- 時間は、**現在のレベルでバッテリーの電力を使い続けた場合に**バッテリーを使用できる推定残り時間を示します。たとえば、DVDが再生すると残り時間が短くなり、停止すると残り時間が長くなります。

バッテリーの充電中に、**[電源メーター]**画面のバッテリーアイコンの上に稲妻の形のアイコンが重なって表示される場合があります。

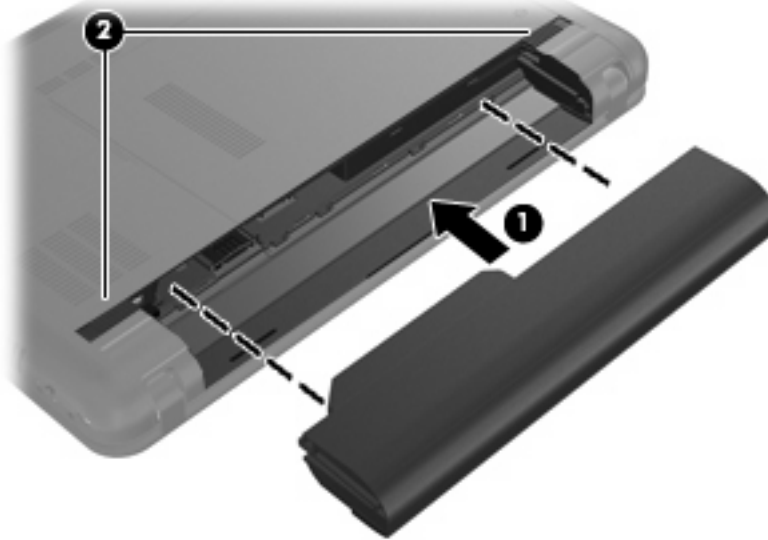
バッテリーの着脱

 **注意：** コンピューターの電源としてバッテリーのみを使用しているときにそのバッテリーを取り外すと、情報が失われる可能性があります。バッテリーを取り外す場合は、情報の損失を防ぐため、あらかじめハイバネーションを起動するかWindowsでコンピューターの電源を切っておいてください。

バッテリーを装着するには、以下の操作を行います。

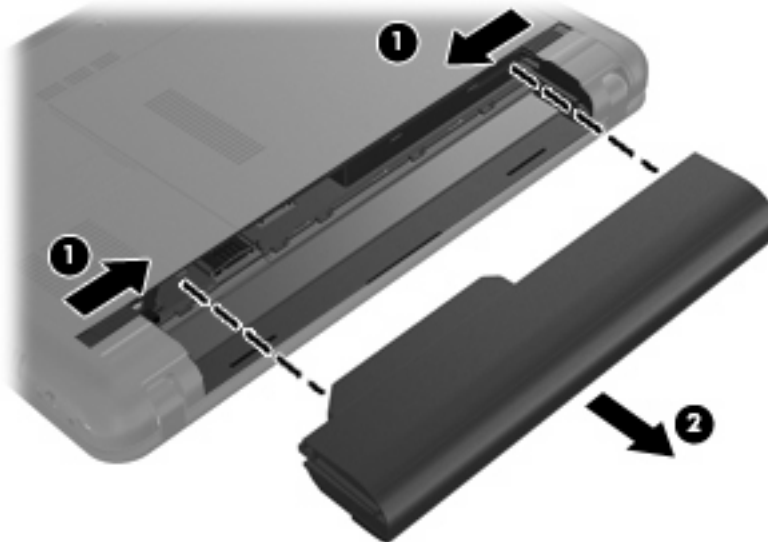
1. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。

2. バッテリーのタブをコンピューターのかぼみに合わせてから (1)、バッテリーをバッテリー ベイに挿入します。バッテリーが装着されると、バッテリー リリース ラッチ (2) が自動的に固定されます。



バッテリーを取り外すには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
2. バッテリー リリース ラッチをスライドさせて (1) バッテリーの固定を解除してから、バッテリーを取り外します (2)。



バッテリーの充電

△ **警告!** 航空機内でコンピューターのバッテリーを充電しないでください。


コンピューターを外部電源 (AC アダプター経由)、別売の電源アダプター、別売のドッキング デバイス、または別売の拡張製品に接続すると、バッテリーの充電が開始されます。

バッテリーは、コンピューターの電源が入っているかどうかにかかわらず充電されますが、電源を切ったときの方が早く充電が完了します。

バッテリーが新しいか 2 週間以上使用されていない場合、またはバッテリーの温度が室温よりも高すぎたり低すぎたりする場合、充電に時間がかかることがあります。

バッテリーの寿命を延ばし、バッテリー残量が正確に表示されるようにするには、以下の点に注意してください。

- 新しいバッテリーを充電する場合は、コンピューターの電源を入れる前にバッテリーを完全に充電してください。
- バッテリー ランプが消灯するまでバッテリーを充電してください。

 **注記：** コンピューターの電源が入っている状態でバッテリーを充電すると、バッテリーが完全に充電される前に通知領域の電源メーターに 100%と表示される場合があります。

- 通常の使用で完全充電時の 5%未満になるまでバッテリーを放電してから充電してください。
- 1 か月以上使用していないバッテリーは、単に充電を行うのではなく、バッテリー ゲージの調整を行います。

バッテリー ランプには、以下のように充電状態が表示されます。

- 点灯：バッテリーが充電中です。
- 点滅：コンピューターの電源としてバッテリーのみを使用していて、ロー バッテリー状態になっています。完全なロー バッテリー状態になった場合は、バッテリー ランプがすばやく点滅し始めます。
- 消灯：バッテリーの充電が完了しているか、バッテリーを使用中か、バッテリーが装着されていない状態です。

バッテリーの放電時間の最長化

バッテリーの放電時間は、バッテリー電源で動作しているときに使用する機能によって異なります。バッテリーの容量は自然に低下するため、バッテリーの最長放電時間は徐々に短くなります。

バッテリーの放電時間を長く保つには、以下の点に注意してください。

- ディスプレイの輝度を下げます。
- バッテリーが使用されていないときまたは充電されていないときは、コンピューターからバッテリーを取り外します。
- バッテリーを気温や湿度の低い場所に保管します。

ロー バッテリー状態への対処

ここでは、出荷時に設定されている警告メッセージおよびシステム応答について説明します。ロー バッテリー状態の警告とシステム応答の設定は、Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]で変更できます。[電源オプション]ウィンドウでの設定は、ランプの状態には影響しません。

ロー バッテリー状態の確認

コンピューターの電源としてバッテリーのみを使用しているときにバッテリーがロー バッテリー状態になると、バッテリー ランプが点滅します。

ロー バッテリー状態を解決しないと完全なロー バッテリー状態に入り、バッテリー ランプがすばやく点滅します。

完全なロー バッテリーの状態になった場合、コンピューターでは以下の処理が行われます。

- ハイバネーションが有効で、コンピューターの電源が入っているかスタンバイ状態のときは、ハイバネーションが起動します。
- ハイバネーションが無効で、コンピューターの電源が入っているかスタンバイ状態のときは、短い時間スタンバイ状態になってから、システムが終了します。このとき、保存されていない情報は失われます。

ロー バッテリー状態の解決

△ **注意：** 情報の損失を防ぐため、コンピューターが完全なロー バッテリー状態になってハイバネーションが起動した場合は、電源ランプが消灯するまで電源を入れしないでください。

外部電源を使用できる場合のロー バッテリー状態の解決

- ▲ 以下のコンピューターのどれかを接続します。
 - AC アダプター
 - 別売の拡張製品または別売のドッキング デバイス
 - 別売の電源アダプター

充電済みのバッテリーを使用できる場合のロー バッテリー状態の解決

1. コンピューターの電源を切るか、ハイバネーションを起動します。
2. 放電したバッテリーを取り外し、充電済みのバッテリーを装着します。
3. コンピューターの電源を入れます。

電源を使用できない場合のロー バッテリー状態の解決

- ▲ ハイバネーションを起動します。
または
作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。

ハイバネーションを終了できない場合のロー バッテリー状態の解決

ハイバネーションを終了するための十分な電力がコンピューターに残っていない場合は、以下の操作を行います。

1. 充電済みのバッテリーを装着するか、コンピューターを外部電源に接続します。
2. 電源ボタンを短く押して、ハイバネーションを終了します。

バッテリー ゲージの調整

バッテリー ゲージの調整は、以下の場合に必要です。

- バッテリー充電情報の表示が不正確な場合
- バッテリーの通常の動作時間が極端に変化した場合

バッテリーを頻繁に使用している場合でも、1か月に2回以上バッテリー ゲージを調整する必要はありません。また、新しいバッテリーを初めて使用する前にバッテリー ゲージを調整する必要はありません。

手順 1：バッテリーを完全に充電する

△ **警告！** 航空機内でコンピューターのバッテリーを充電しないでください。

🔍 **注記：** バッテリーは、コンピューターの電源が入っているかどうかにかかわらず充電されますが、電源を切ったときの方が早く充電が完了します。

バッテリーを完全に充電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターにバッテリーを装着します。
2. コンピューターを AC アダプター、別売の電源アダプター、別売の拡張製品、または別売のドッキング デバイスに接続し、そのアダプターまたはデバイスを外部電源に接続します。
コンピューターのバッテリー ランプが点灯します。
3. バッテリーが完全に充電されるまで、コンピューターを外部電源に接続しておきます。
充電が完了すると、コンピューターのバッテリー ランプが消灯します。

手順 2 : ハイバネーションおよびスタンバイを無効にする

1. タスクバーの右端の通知領域にある**[電源メーター]**アイコンを右クリックし、**[電源プロパティの調整]**をクリックします。
または
[スタート]→**[コントロール パネル]**→**[パフォーマンスとメンテナンス]**→**[電源オプション]**の順に選択します。
2. バッテリー ゲージ調整後に設定を元に戻せるように、**[バッテリー使用]**列および**[電源に接続]**列の 4 つの設定をメモに記録しておきます。
3. これら 4 つのオプションをすべて**[なし]**に設定します。
4. **[OK]**をクリックします。

手順 3 : バッテリーを放電する

バッテリーの放電中は、コンピューターの電源を入れたままにしておく必要があります。バッテリーは、コンピューターを使用しているかどうかにかかわらず放電できますが、使用している方が早く放電が完了します。

- 放電中にコンピューターを放置しておく場合は、放電を始める前に作業中のファイルを保存してください。
- 放電中にコンピューターを使用する予定で、省電力設定を利用している場合、放電処理中はシステムの動作が以下ようになります。
 - モニターが自動的にオフになりません。
 - コンピューターがアイドル状態のときでも、ハードドライブの速度は自動的に低下しません。
 - システムによるハイバネーションは起動されません。

バッテリーを放電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを外部電源から切り離します。ただし、コンピューターの電源は切らないでください。
2. バッテリーが放電するまで、バッテリー電源でコンピューターを動作させます。バッテリーの放電が進んでロー バッテリー状態になると、バッテリー ランプが点滅し始めます。バッテリーが放電すると、バッテリー ランプが消灯して、コンピューターの電源が切れます。

手順 4：バッテリーを完全に再充電する

バッテリーを再充電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを外部電源に接続して、バッテリーが完全に再充電されるまで接続したままにします。再充電が完了すると、コンピューターのバッテリー ランプが消灯します。
バッテリーの再充電中でもコンピューターは使用できますが、電源を切っておく方が充電が早く完了します。
2. コンピューターの電源を切っていた場合は、バッテリーが完全に充電されてバッテリー ランプが消灯した後で、コンピューターの電源を入れます。

手順 5：ハイバネーションおよびスタンバイを再び有効にする

△ **注意：** バッテリー ゲージの調整後にハイバネーションを有効にしないと、コンピューターが完全なローバッテリー状態になった場合、バッテリーが完全に放電して情報が失われるおそれがあります。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の順に選択します。
2. [電源に接続]列と[バッテリー使用]列の項目を、記録しておいた設定に戻します。
3. [OK]をクリックします。

バッテリーの節電

- Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]で消費電力設定を選択します。
- ネットワークに接続する必要がないときは無線接続および LAN 接続をオフにし、モデムを使用するアプリケーションは使用後すぐに終了します。
- 外部電源に接続されていない外付けデバイスのうち、使用していないものをコンピューターから取り外します。
- 使用していない外付けメディア カードを停止するか、無効にするか、または取り出します。
- 必要に応じて画面の輝度を調節するには、fn + f3 および fn + f4 ホットキーを使用します。
- しばらく作業を行わないときは、スタンバイまたはハイバネーションを起動するか、コンピューターの電源を切ります。

バッテリーの保管

△ **注意：** 故障の原因となりますので、バッテリーを温度の高い場所に長時間放置しないでください。

2 週間以上コンピューターを使用せず、外部電源から切り離しておく場合は、すべてのバッテリーを取り出して別々に保管してください。

保管中のバッテリーの放電を抑えるには、バッテリーを気温や湿度の低い場所に保管してください。

🔍 **注記：** 保管中のバッテリーは、6 か月ごとに点検してください。容量が 50%未満になっている場合は、再充電してから保管してください。

1 か月以上保管したバッテリーを使用するときは、最初にバッテリー ゲージの調整を行ってください。

使用済みバッテリーの処理

- △ **警告！** 化学薬品による火傷や発火のおそれがありますので、分解したり、壊したり、穴をあけたりしないでください。また、接点をショートさせたり、火や水の中に捨てたりしないでください。

バッテリーの処理については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。バッテリーは消耗品です。

コンピューターのシャットダウン

- △ **注意：** コンピューターをシャットダウンすると、保存されていない情報は失われます。

[シャットダウン]コマンドはオペレーティング システムを含む開いているすべてのプログラムを終了し、ディスプレイおよびコンピューターの電源を切ります。

以下の場合には、コンピューターをシャットダウンします。

- バッテリーを交換したりコンピューター内部の部品に触れたりする必要がある場合
- USB コネクタ以外のコネクタに外付けハードウェア デバイスを接続する場合
- コンピューターを長期間使用せず、外部電源から切断する場合

コンピューターをシャットダウンするには、以下の操作を行います。

- ☒ **注記：** コンピューターがスタンバイまたはハイバネーション状態の場合は、シャットダウンをする前にスタンバイまたはハイバネーションを終了させる必要があります。

1. 作業中のデータを保存して、開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. [スタート]→[終了オプション]→[電源を切る]の順に選択します。

コンピューターが応答しなくなり、上記のシャットダウン手順を使用できない場合は、以下の緊急シャットダウン操作を順番に行ってみてください。

- **ctrl + alt + delete** キーを押します。次に、[シャットダウン]→[電源を切る]または[コンピューターの電源を切る]の順に選択します。
- 電源ボタンを 5 秒程度押し続けます。
- コンピューターを外部電源から切断し、バッテリーを取り外します。

9 セキュリティ

コンピューターの保護

Windows オペレーティング システムおよび Windows 以外のセットアップ ユーティリティによって提供される標準のセキュリティ機能によって、個人設定およびデータをさまざまなリスクから保護できます。

この章に記載されている手順を実行して、以下の機能を使用します。

- パスワード
- ファイアウォール ソフトウェア
- ウィルス対策サポート (Norton Internet Security)
- 緊急セキュリティ アップデート

注記： セキュリティ ソリューションは、抑止効果を発揮することを目的として設計されていますが、ソフトウェアによる攻撃、またはコンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

注記： コンピューターをサポートあてに送付する場合は、事前にすべてのパスワード設定を削除してください。

コンピューターでの危険性	セキュリティ機能
コンピューターの不正な使用	<ul style="list-style-type: none">● QuickLock● 電源投入時パスワード
データへの不正なアクセス	<ul style="list-style-type: none">● ファイアウォール ソフトウェア● Windows Update
セットアップ ユーティリティ、BIOS 設定、およびその他のシステム識別情報への不正アクセス	Administrator パスワード
コンピューターへの現在または将来の脅威	Microsoft からの緊急セキュリティ アップデート
Windows ユーザー アカウントへの不正なアクセス	ユーザー パスワード

パスワードの使用

パスワードとは、お使いのコンピューターの情報を保護するために選択する文字列です。情報へのアクセスの制御方法に応じてさまざまな種類のパスワードを選択できます。パスワードは、Windows やセットアップ ユーティリティ (Windows が起動する前に機能する、プリインストールされたユーティリティ) で設定できます。

- △ **注意：** コンピューターがロックされないように、設定したパスワードをすべて書き留めてください。ほとんどのパスワードは設定、変更、削除するときに表示されないため、パスワードをすぐ書き留め、他人の目にふれない安全な場所に保管する必要があります。

セットアップユーティリティ機能と Windows セキュリティ機能の両方で同じパスワードを使用できます。複数のセットアップユーティリティ機能で同じパスワードを使用できます。

セットアップユーティリティでパスワードを設定する場合は、以下のガイドラインを参考にしてください。

- パスワードは、最長 8 文字まで英数字を組み合わせて指定できます。また、大文字と小文字は区別されます。
- セットアップユーティリティで設定するパスワードは、セットアップユーティリティのプロンプトで入力する必要があります。Windows に設定されるパスワードは、Windows プロンプトで入力する必要があります。

パスワードを作成したり保存したりするときは、以下のヒントを参考にしてください。

- パスワードを作成するときは、プログラムの要件に従う
- パスワードを書き留めておき、コンピューターから離れた他人の目にふれない安全な場所に保管する
- パスワードをコンピューター上のファイルに保存しない
- 部外者が簡単に知ることができる名前などの個人情報を使用しない

以下の項目では、Windows のパスワードおよびセットアップユーティリティのパスワードのそれぞれの機能について説明します。スクリーンセーバのパスワードなど、Windows のパスワードについては、[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択してください。

Windows でのパスワードの設定

パスワード	機能
管理者パスワード	管理者レベルのデータへのアクセスを保護します 注記： このパスワードは、セットアップユーティリティのデータへのアクセスには使用できません
ユーザーパスワード	Windows ユーザーアカウントへのアクセスを保護しますコンピューターのデータへのアクセスも保護します。スタンバイまたはハイバネーションを終了するときにはこのパスワードを入力する必要があります
QuickLock	コンピューターにアクセスする前に Windows の[ログオン]ダイアログボックスにパスワードを入力するように要求することによって、コンピューターを保護します。ユーザーまたは管理者パスワードを設定した後は、以下の操作を行います <ol style="list-style-type: none">1. fn + f6 キーを押して[QuickLock]を起動します2. Windows のユーザーパスワードまたは管理者パスワードを入力して[QuickLock]を終了します

セットアップユーティリティでのパスワードの設定

パスワード	機能
管理者パスワード*	<ul style="list-style-type: none">• セットアップユーティリティへのアクセスを保護します• パスワードの設定後は、セットアップユーティリティにアクセスするたびにこのパスワードを入力する必要があります <p>注意： 管理者パスワードを忘れた場合は、セットアップユーティリティにアクセスできません</p>
電源投入時パスワード*	<ul style="list-style-type: none">• コンピューターのデータへのアクセスを保護します• パスワード設定後は、コンピューターの電源投入時、再起動時、またはハイバネーションの終了時には必ずこのパスワードを入力する必要があります <p>注意： 電源投入時パスワードを忘れると、コンピューターの電源を入れることも、再起動も、ハイバネーションの終了もできなくなります</p>

*各パスワードについて詳しくは、以下の項目を参照してください。

管理者パスワード

管理者パスワードを設定すると、セットアップユーティリティのコンフィギュレーション設定とシステム識別情報が保護されます。パスワードの設定後は、セットアップユーティリティにアクセスするたびにこのパスワードを入力する必要があります。

その管理者パスワードは、Windows で設定した管理者パスワードで置き換えができず、設定、入力、変更、または削除時に表示されません。必ずパスワードを書き留め、他人の目にふれない安全な場所に保管してください。

管理者パスワードの管理

パスワードを設定、変更および削除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動してセットアップユーティリティを開き、画面の左下隅に[F10 = BIOS Setup Options]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。
2. 矢印キーを使用して**[Security]**（セキュリティ）→**[Set Administrator Password]**（管理者パスワードの設定）の順に選択し、**enter** キーを押します。
 - 管理者パスワードを設定するには、**[Enter New Password]**（新しいパスワードの入力）および**[Confirm New Password]**（新しいパスワードの確認）フィールドにパスワードを入力し、**enter** キーを押します。
 - 管理者パスワードを変更するには、**[Enter Current Password]**（現在のパスワードの入力）フィールドに現在のパスワードを入力し、**[Enter New Password]**および**[Confirm New Password]**フィールドに新しいパスワードを入力し、**enter** キーを押します。
 - 管理者パスワードを削除するには、**[Enter Password]**（パスワードの入力）フィールドに現在のパスワードを入力し、**enter** キーを4回押します。
3. 変更を保存してセットアップユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して**[Exit]**（終了）→**[Exit Saving Changes]**（変更を保存して終了）の順に選択します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

管理者パスワードの入力

[Enter Password]（パスワードの入力）画面が表示されたら、管理者パスワードを入力して **enter** キーを押します。3 回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターを再起動し、入力しなおしてください。

電源投入時パスワード

電源投入時パスワードは、コンピューターが不正に使用されることを防ぎます。パスワード設定後は、コンピューターの電源投入時、再起動時、またはハイバネーションの終了時には必ずこのパスワードを入力する必要があります。電源投入時パスワードは、設定、入力、変更、または削除する場合に表示されません。

電源投入時パスワードの管理

パスワードを設定、変更および削除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動してセットアップ ユーティリティを開き、画面の左下隅に [F10 = BIOS Setup Options] というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。
2. 矢印キーを使用して **[Security]**（セキュリティ）→ **[Set Power-On Password]**（電源投入時パスワードの設定）の順に選択し、**enter** キーを押します。
 - 電源投入時パスワードを設定するには、**[Enter New Password]**（新しいパスワードの入力）および **[Confirm New Password]**（新しいパスワードの確認）フィールドにパスワードを入力し、**enter** キーを押します。
 - 電源投入時パスワードを変更するには **[Enter Current Password]**（現在のパスワードの入力）フィールドに現在のパスワードを入力し、**[Enter New Password]** および **[Confirm New Password]** フィールドに新しいパスワードを入力し、**enter** キーを押します。
 - 電源投入時パスワードを削除するには、**[Enter Current Password]** フィールドに現在のパスワードを入力し、**enter** キーを 4 回押します。
3. 変更を保存してセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して **[Exit]**（終了）→ **[Exit Saving Changes]**（変更を保存して終了）の順に選択します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

電源投入時パスワードの入力

[Enter Password]画面が表示されたらパスワードを入力して **enter** キーを押します。3 回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターを再起動し、入力しなおしてください。


ウイルス対策ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールを使用したり、インターネットに接続したりする場合、コンピューターがコンピューターウイルスの危険にさらされます。コンピューターウイルスに感染すると、オペレーティングシステム、アプリケーション、ユーティリティなどが使用できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。

ウイルス対策ソフトウェアを使用すれば、ほとんどのウイルスが検出、駆除されるとともに、通常、ウイルスの被害にあった箇所を修復することも可能です。新しく発見されたウイルスからコンピューターを保護するには、ウイルス対策ソフトウェアを最新の状態にしておく必要があります。

お使いのコンピューターには、ウイルス対策プログラムの[Norton Internet Security]がプリインストールされています。

- プリインストールされているバージョンの[Norton Internet Security]は、使用開始後 60 日間は無料で更新できます。延長更新サービスを購入し、60 日以後も新しいウイルスからコンピューターを保護することを強くおすすめします。[Norton Internet Security]ソフトウェアの使用と更新、および延長更新サービスの購入の手順は、プログラム内から参照できます。
- [Norton Internet Security]にアクセスしたり、詳しい情報を取得したりするには、**[スタート]→[すべてのプログラム]→[Norton Internet Security]**の順に選択します。


 **注記：** ウイルス対策ソフトウェアを常に更新してコンピューターを保護することをおすすめします。

注記： コンピューターウイルスについてさらに詳しく調べるには、[ヘルプとサポート]の[検索]テキストフィールドに「ウイルス」と入力してください。

ファイアウォール ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールやネットワークを使用したリインターネットにアクセスしたりする場合、第三者がコンピューターや個人用ファイルにアクセスしたり、使用者に関する情報を不正に取得してしまう可能性があります。プライバシーを保護するため、コンピューターにプリインストールされているファイアウォール ソフトウェアを使用してください。

ネットワーク処理のログおよびレポート情報や、自動アラームなどのファイアウォール機能を使用して、コンピューターでの送受信の流れを監視します。詳しくは、ファイアウォールの説明書を参照するか、ファイアウォールの製造元に問い合わせてください。

-
-  **注記：** 特定の状況下では、ファイアウォールがインターネット ゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンターやファイルの共有に干渉したり、許可されている電子メールの添付ファイルをブロックしたりすることがあります。問題を一時的に解決するには、ファイアウォールを無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、ファイアウォールを再設定します。
-

緊急アップデートのインストール

△ **注意：** Microsoft 社は、緊急アップデートに関する通知を配信しています。お使いのコンピューターをセキュリティの侵害やコンピューター ウィルスから保護するため、通知があった場合はすぐに Microsoft 社からのすべてのオンライン緊急アップデートをインストールしてください。

オペレーティング システムやその他のソフトウェアに対するアップデートが、コンピューターの工場出荷後にリリースされている可能性があります。すべての使用可能なアップデートが確実にコンピューターにインストールされているようにするには、以下の操作を行います。

- コンピューターのセットアップが完了したら、できる限りすぐに[Windows Update]を実行します。[スタート]→[すべてのプログラム]→[Windows Update]の順に選択すると表示されるアップデート リンクを使用します。
- [Windows Update]は、1 か月に 1 回など、一定期間ごとに実行してください。
- Window およびその他の Microsoft のプログラムのアップデートがリリースされる度に、Microsoft 社の Web サイトおよび[ヘルプとサポート]のアップデート リンクから入手します。

10 ソフトウェア アップデート

HP の Web サイトから、コンピューターに付属するソフトウェアの更新版を入手できます。


HP の Web サイトには、多くのソフトウェアおよび BIOS アップデートが **SoftPaq** という圧縮ファイル形式で提供されています。

一部のダウンロードパッケージには、このファイルのインストールやトラブルシューティングに関する情報が記載された Readme.txt ファイルが含まれます。

ソフトウェアを更新するには、このガイドで説明する作業を以下の順序で行います。

1. お使いのコンピューターのモデル、製品のカテゴリ、およびシリーズまたはファミリーを確認します。コンピューターに現在インストールされている BIOS のバージョンを確認して、システム BIOS アップデートを準備します。

コンピューターがネットワークに接続されている場合は、ソフトウェア アップデート（特にシステム BIOS アップデート）のインストールは、ネットワーク管理者に確認してから実行してください。

 **注記：** コンピューター システムの BIOS は、システム ROM に格納されます。BIOS は、オペレーティング システムを初期化し、コンピューターとハードウェア デバイスとの通信方法を決定し、ハードウェア デバイス間で日付と時刻などのデータを転送します。

2. HP の Web サイト (<http://www.hp.com/jp/>) の[ドライバー & ソフトウェア ダウンロード]から、お使いの製品の情報を表示します。
3. アップデートをインストールします。

BIOS の更新

BIOS を更新するには、まず現在使用している BIOS のバージョンを確認してから、新しい BIOS をダウンロードしてインストールします。

BIOS のバージョンの確認

利用可能な BIOS アップデートの中に、現在コンピューターにインストールされている BIOS よりも新しいバージョンの BIOS があるかどうかを調べるには、現在インストールされているシステム BIOS のバージョンを確認する必要があります。

BIOS バージョン情報（「ROM 日付」または「システム BIOS」とも呼ばれます）を表示するには、セットアップユーティリティを開きます。

BIOS 情報を表示するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動してセットアップユーティリティを開き、画面の左下隅に [F10 = BIOS Setup Options] というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。
2. セットアップユーティリティの起動時にシステム情報が表示されない場合は、矢印キーを使用して **[Main]**（メイン）メニューを選択します。

[Main]メニューを選択すると、BIOS およびその他のシステムの情報が表示されます。

3. セットアップユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して **[Exit]**（終了）→ **[Exit Discarding Changes]**（変更を取り消して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

BIOS アップデートのダウンロード

- △ **注意：** コンピューターの損傷やインストールの失敗を防ぐため、BIOS アップデートのダウンロードおよびインストールを実行するときは必ず、AC アダプターを使用した信頼性の高い外部電源にコンピューターを接続してください。コンピューターがバッテリー電源で動作しているとき、別売のドッキング デバイスに接続されているとき、または別売の電源に接続されているときは、BIOS アップデートをダウンロードまたはインストールしないでください。ダウンロードおよびインストール時は、以下の点に注意してください。

電源コンセントからコンピューターの電源コードを抜いて外部からの電源供給を遮断することはおやめください。

コンピューターをシャットダウンしたり、スタンバイやハイバネーションを起動したりしないでください。

コンピューター、ケーブル、またはコードの挿入、取り外し、接続、または切断を行わないでください。


BIOS アップデートをダウンロードするには、以下の操作を行います。

1. お使いのコンピューター用のソフトウェアを提供している HP の Web サイトのページを表示します。

[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択して最新ソフトウェアを提供するページへのリンクを選択します。


2. 画面の説明に沿ってお使いのコンピューターを指定し、ダウンロードする BIOS アップデートを表示します。
3. ダウンロード エリアで、以下の操作を行います。

- a. お使いのコンピューターに現在インストールされている BIOS のバージョンよりも新しい BIOS を確認します。日付や名前、またはその他の、ファイルを識別するための情報をメモしておきます。後で、ハードドライブにダウンロードしたアップデートを探すときにこの情報が必要になる場合があります。
- b. 画面の説明に沿って操作し、選択したバージョンをハードドライブにダウンロードします。
BIOS アップデートをダウンロードする場所へのパスをメモします。このパスは、アップデートをインストールするときに必要です。

 **注記：** コンピューターをネットワークに接続している場合は、ソフトウェア アップデート（特にシステム BIOS アップデート）のインストールは、ネットワーク管理者に確認してから実行してください。

ダウンロードした BIOS によってインストール手順が異なります。ダウンロードが完了した後、画面に表示される説明に沿って操作します。説明が表示されない場合は、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[マイ コンピューター]の順に選択して、Windows の[エクスプローラー]を開きます。
2. ハードドライブをダブルクリックします。通常は、ローカル ディスク (C:) を指定します。
3. BIOS ソフトウェアをダウンロードした時のメモを参照するなどして、ハードドライブ上のアップデート ファイルが保存されているフォルダーを開きます。
4. 拡張子が.exe であるファイル (filename.exe など) をダブルクリックします。
BIOS のインストールが開始されます。
5. 画面の説明に沿って操作し、インストールを完了します。

 **注記：** インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードしたファイルをハードドライブから削除できます。


プログラムとドライバーの更新

BIOS アップデート以外のソフトウェアをダウンロードしてインストールするには、以下の操作を行います。

1. お使いのコンピューター用のソフトウェアを提供している HP の Web サイトのページを表示します。


[スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択し、ソフトウェアとドライバーのアップデートを選択します。

2. 画面の説明に沿って操作し、アップデートするソフトウェアを見つけます。
3. ダウンロード エリアで、ダウンロードするソフトウェアを選択し、画面の説明に沿って操作します。

 **注記：** ソフトウェアをダウンロードする場所へのパスのメモを取っておきます。ソフトウェアをインストールするときに、このパスが必要です。

4. ダウンロードが完了したら、[スタート]→[マイ コンピューター]の順に選択して、Windows の[エクスプローラー]を開きます。
5. ハードドライブをダブルクリックします。通常は、ローカル ディスク (C:) を指定します。
6. BIOS ソフトウェアをダウンロードした時のメモを参照するなどして、ハードドライブ上のアップデート ファイルが保存されているフォルダーを開きます。
7. 拡張子が.exe であるファイル (filename.exe など) をダブルクリックします。
インストールが開始されます。

8. 画面の説明に沿って操作し、インストールを完了します。

 **注記：** インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードしたファイルをハードドライブから削除できます。

11 セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティの開始

セットアップユーティリティはROMベースのユーティリティで、情報の表示とシステムのカスタマイズを行います。Windowsオペレーティングシステムが動作しない場合にも使用できます。

ユーティリティはコンピューターに関する情報をレポートし、起動、セキュリティ、および他のオプションを設定します。

セットアップユーティリティを開始するには、以下の操作を行います。

- ▲ コンピューターを起動または再起動してセットアップユーティリティを開き、画面の左下隅に[F10 = BIOS Setup Options]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。

セットアップユーティリティの使用

セットアップユーティリティの言語の変更

以下の手順では、セットアップユーティリティの言語を変更する方法を説明します。セットアップユーティリティが起動していない場合、手順1から始めます。セットアップユーティリティが起動している場合は、手順2から始めます。

1. コンピューターを起動または再起動してセットアップユーティリティを開き、画面の左下隅に[F10 = BIOS Setup Options]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。
2. 矢印キーを使用して[System Configuration]（システムコンフィギュレーション）→[Language]（言語）の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. 矢印キーを使用して言語を選択し、**enter** キーを押します。
4. 選択した言語を確認するメッセージが表示されたら、**enter** キーを押します。
5. 変更を保存してセットアップユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して[Exit]（終了）→[Exit Saving Changes]（変更を保存して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

変更はすぐに有効になります。

セットアップユーティリティでの移動および選択

セットアップユーティリティはWindowsベースではないため、タッチパッドに対応していません。移動および選択は、キーを押して行います。

- メニューまたはメニュー項目を選択するには、矢印キーを使用します。
- 一覧から項目を選択したり、有効/無効などのフィールドを切り替えたりするには、矢印キーを使用するか、**f5** キーまたは **f6** キーを使用します。
- 項目を選択するには、**enter** キーを押します。
- テキストボックスを閉じるか、またはメニュー表示に戻るには、**esc** キーを押します。
- セットアップユーティリティの起動中にその他の操作や選択項目の情報を表示するには、**f1** キーを押します。

システム情報の表示

以下の手順では、セットアップユーティリティでシステム情報を表示する方法を説明します。セットアップユーティリティが起動していない場合、手順1から始めます。セットアップユーティリティが起動している場合は、手順2から始めます。


1. コンピューターを起動または再起動してセットアップユーティリティを開き、画面の左下隅に[F10 = BIOS Setup Options]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。
2. **[Main]** (メイン) メニューを選択します。システム時刻および日付などのシステム情報およびコンピューターの識別情報が表示されます。
3. 設定を変更しないでセットアップユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して、**[Exit]** (終了) →**[Exit Discarding Changes]** (変更を取り消して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。

セットアップユーティリティでの初期設定の復元

以下の手順では、セットアップユーティリティの初期設定を復元する方法を説明します。セットアップユーティリティが起動していない場合、手順1から始めます。セットアップユーティリティが起動している場合は、手順2から始めます。

1. コンピューターを起動または再起動してセットアップユーティリティを開き、画面の左下隅に[F10 = BIOS Setup Options]というメッセージが表示されている間に、**f10** キーを押します。
2. 矢印キーを使用して**[Exit]** (終了) →**[Load Setup Defaults]** (初期設定値をロードする) の順に選択し、**enter** キーを押します。
3. セットアップの確認が表示されたら、**enter** キーを押します。
4. 変更を保存してセットアップユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して**[Exit]** →**[Exit Saving Changes]** (変更を保存して終了) の順に選択し、**enter** キーを押します。

セットアップユーティリティの初期設定値は、コンピューターを再起動したときに有効になります。

 **注記：** 上記の手順で工場出荷時の設定を復元しても、パスワード、セキュリティ、および言語の設定は変更されません。

セットアップユーティリティの終了

変更を保存または保存しないでセットアップユーティリティを終了できます。

- 現在のセッションからの変更内容を保存して、セットアップユーティリティを終了するには、以下の操作を行います。

セットアップユーティリティのメニューが表示されていない場合は、**esc** キーを押して、メニュー画面に戻ります。矢印キーを使用して、**[Exit]**（終了）→**[Exit Saving Changes]**（変更を保存して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。


- 現在のセッションからの変更内容を保存しないで、セットアップユーティリティを終了するには、以下の操作を行います。

セットアップユーティリティのメニューが表示されていない場合は、**esc** キーを押して、メニュー画面に戻ります。矢印キーを使用して、**[Exit]**→**[Exit Discarding Changes]**（変更を取り消して終了）の順に選択し、**enter** キーを押します。

どちらかを選択すると、コンピューターが再起動され Windows が起動します。

セットアップユーティリティのメニュー

このセクションのメニューの表に、セットアップユーティリティのオプションの概要を示します。

 **注記：** この章に記載されているセットアップユーティリティの一部のメニュー項目は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

[Main] (メイン) メニュー

選択	設定内容
System information (システム情報)	<ul style="list-style-type: none">システム時刻および日付を表示したり変更したりしますコンピューターの識別情報を表示しますプロセッサ、メモリ サイズ、およびシステム BIOS の仕様情報を表示します

[Security] (セキュリティ) メニュー

選択	設定内容
Administrator password (管理者パスワード)	管理者パスワードを入力、変更、または削除します
Power-On Password (電源投入時パスワード)	電源投入時パスワードを入力、変更、または削除します

[System Configuration] (システム コンフィギュレーション) メニュー

選択	設定内容
Language Support (対応言語)	セットアップユーティリティの言語を変更します

選択	設定内容
Processor C4 State (プロセッサ C4 の状態)	プロセッサ C4 のスリープ状態を有効/無効にします
Boot Options (ブート オプション)	<p>以下のブート オプションを設定します</p> <ul style="list-style-type: none"> • f10 and f12 Delay (sec.) (f10 および f12 の遅延 (秒)) : セットアップユーティリティの f10 および f12 機能の遅延 (キー入力を待つ時間) を、5 秒間隔 (0、5、10、15、20) で設定します • HP QuickWeb : ブート時の[HP QuickWeb]の有効/無効を設定し、ユーザーが Windows を起動するときの遅延を設定します • Internal Network Adapter boot (内蔵ネットワーク アダプター ブート) : 内蔵ネットワーク アダプターからのブートを有効/無効にします • Boot Order (ブート順序) : 以下のブート順序を設定します <ul style="list-style-type: none"> ◦ 内蔵ハードドライブ (一部のモデルのみ) ◦ USB フロッピー ◦ USB CD/DVD ROM ドライブ ◦ USB フラッシュ ドライブ ◦ USB ハードドライブ ◦ USB カード リーダー ◦ ネットワーク アダプター <p>注記 : ブート順序のメニューには、システムに取り付けられているデバイスのみが表示されます</p>

[Diagnostics] (診断) メニュー

選択	設定内容
Primary Hard Disk Self Test (プライマリ ハードドライブの自己診断)	ハードドライブの総合的な自己診断を実行します
Memory Test (メモリ テスト)	システム メモリの診断テストを実行します

索引

- A**
AC アダプター
 確認 10
 接続 56
- B**
BD ドライブ 39
BIOS、更新 73
Bluetooth
 デバイス 13
- C**
Caps Lock ランプ、位置 2
CD
 ドライブ 39
- D**
[Diagnostics] (診断) メニュー 79
DVD
 ドライブ 39
- E**
esc キー 4
- F**
fn キー 4, 49
- H**
HDMI
 コネクタ、位置 6
 コネクタ 32
 接続 32
HD 対応デバイス、接続 32
[HP QuickWeb]ソフトウェア 12
[HP Wireless Assistant]ソフトウェア 15
HP モバイル ブロードバンド
 無効化 19
- HP モバイル ブロードバンド モジュール 18
- M**
[Main] (メイン) メニュー 78
- Q**
QuickLock
 ホットキー 51
- R**
RJ-45 (ネットワーク) コネクタ、位置 6
- S**
[Security] (セキュリティ) メニュー 78
SIM
 装着 19
 取り出し 20
SSD (Solid State Drive) 35
[System Configuration] (システム
 コンフィギュレーション) メニュー 78
- U**
USB ケーブル、接続 42
USB コネクタ
 位置 5, 6
 確認 42
USB デバイス
 接続 42
 説明 42
 停止 42
 取り外し 42
USB ハブ 42
- W**
Web カメラ
 位置 7, 27
- Web カメラ ランプ、位置 7, 27
Windows アプリケーション キー、位置 4
Windows、設定するパスワード 66
Windows ロゴ キー、位置 4
- あ**
アイコン
 ネットワーク ステータス 14
 無線 14
アプリケーション キー、Windows 4
暗号化 17
アンテナ 9
- い**
イヤフォン 5, 27
インターネット接続のセットアップ 16
- お**
オーディオ機能
 確認 30
オーディオ出力 (ヘッドフォン) コネクタ 5, 27
オーディオ デバイス、外付け 30
オーディオ入力 (マイク) コネクタ 5, 27
オプティカル ドライブ
 共有 40
オペレーティング システム 64
温度 63
音量上げホットキー、位置 28
音量下げホットキー、位置 28
音量、調整 28
- か**
書き込み可能メディア 53

- 確認、オーディオ機能 30
- 各部
 - 前面 4
 - その他のハードウェア 10
 - タッチパッド 1
 - ディスプレイ 7
 - 左側面 6
 - 右側面 5
 - 裏面 8
- 画面の輝度ホットキー 51
- 画面表示、切り替え 51
- 干渉、最小化 24
- 完全なローバッテリー状態 60
- 管理者パスワード
 - 管理 67
 - 作成 67
 - 入力 68
- き**
- キー
 - esc 4
 - fn 4
 - Windows アプリケーション 4
 - Windows ロゴ 4
 - ファンクション 4
- キーボードホットキー、位置 49
- 企業無線 LAN への接続 18
- 規定情報
 - HP モバイル ブロードバンド モジュールのシリアル番号 11
 - 規定ラベル 11
 - 無線 11
- 共有ドライブ 40
- く**
- 空港のセキュリティ装置 36
- け**
- ケーブル
 - LAN 24
 - USB 42
 - VGA 32
- こ**
- 公共無線 LAN への接続 18
- コード、電源 10
- コネクタ
 - HDMI 6, 32
 - RJ-45 (ネットワーク) 6
 - USB 5, 6, 42
- オーディオ出力 (ヘッドフォン) 5, 27
- オーディオ入力 (マイク) 5, 27
- 外付けモニター 6, 32
- コンピューター
 - 電源切断 64
- コンピューターの持ち運び 63
- さ**
- サービス タグ 10
- し**
- システム情報 78
- システム情報の表示 77
- システムの応答停止 64
- シャットダウン 64
- 初期設定の復元 77
- シリアル番号、コンピューター 10
- す**
- スーパーマルチ DVD±R/RW 対応ブルーレイ ディスク ROM (2 層記録 (DL) 対応) 40
- スタンバイ
 - 起動 53
 - 終了 53
- スタンバイのホットキー 50
- スピーカー、位置 4, 27
- スロット
 - セキュリティ ロック ケーブル 6
- せ**
- 製品名および製品番号、コンピューター 10
- セキュリティ、無線 17
- セキュリティ ロック ケーブル用スロット
 - 位置 6
- 接続、外部電源 56
- セットアップ、コンピューター 1
- セットアップユーティリティ
 - 移動 77
 - 言語の変更 76
 - 終了 78
 - 設定するパスワード 67
 - 選択 77
- 節約、電源 63
- そ**
- 外付けオーディオ デバイス、接続 30
- 外付けドライブ 39
- 外付けモニター コネクタ
 - 位置 6
- ソフトウェア
 - HP Wireless Assistant 15
 - Windows Media Player 29
 - インストール 29
 - ディスク クリーンアップ 37
 - ディスク デフラグ 36
 - マルチメディア 29
- た**
- 対応言語 78
- タッチパッド
 - 確認 1
 - 使用 49
 - スクロール ゾーン、位置 2
 - ボタン 2
- つ**
- 通気孔、位置 6, 8
- て**
- ディスク クリーンアップ ソフトウェア 37
- ディスク デフラグ ソフトウェア 36
- ディスプレイ スイッチ、位置 7
- ディスプレイ
 - 画像、切り替え 51
 - 画面の輝度ホットキー 51
- 電源コード、確認 10
- 電源コネクタ、位置 6
- 電源投入時パスワード
 - 管理 68
 - 作成 68
 - 入力 68
- 電源ボタン、位置 3
- 電源ランプ
 - 位置 2
- 電源
 - 接続 56
 - 節約 63
- と**
- ドライブ
 - オプティカル 39

外付けの接続 40
外付け 39
ハード 37, 38, 39
ブート順序 79
フロッピーディスク 39
ドライブメディア 53
ドライブランプ、位置 5
取り付けられているドライブ、確認 35

な

内蔵ディスプレイ スイッチ、位置 7
内蔵マイク
位置 7, 27

ね

ネットワーク キー 23
ネットワーク ケーブル
接続 24
ノイズ抑制コア 24
ネットワーク コネクタ、位置 6
ネットワーク ステータス アイコン 14
ネットワーク セキュリティ コード
SSID 23
ネットワーク キー 23

の

ノイズ抑制コア、ネットワーク ケーブル 24

は

ハードウェア、確認 1
ハードドライブ カバー
取り付け 47
取り外し 46
ハードドライブ
交換 37
外付け 39
取り出し 37
取り付け 38
ハードドライブ ベイ、位置 8
ハイバネーション
完全なロー バッテリー状態での起動 60
起動 54
終了 54
パスワード
Windows での設定 66

管理者 67
セットアップ ユーティリティでの設定 67
電源投入時 68
バッテリー ゲージの調整 61
バッテリー電源 57
バッテリー
温度 63
確認 10
再充電 63
充電 58, 61
処理 64
節電 63
装着 57
調整 61
取り外し 57
放電 59
保管 63
ロー バッテリー状態 59

バッテリー ベイ
位置 8
バッテリー ランプ 5, 58, 59
バッテリー リリース ラッチ 8, 57
ハブ 42

ひ

左のタッチパッド ボタン、位置 2
ビデオ伝送方式 51

ふ

ファイアウォール 17
ファンクション キー 4, 49
ブート オプション 79
ブート順序 79
プライマリ ハードドライブの自己診断 79
プログラム、更新 75
プロジェクター、接続 32
プロセッサ C4 の状態 79
フロッピーディスク ドライブ 39

へ

ベイ、バッテリー 8
ヘッドフォン (オーディオ出力) コネクタ 5, 27
ヘッドフォン 5, 27

ほ

ボタン
電源 3
左のタッチパッド 2
右のタッチパッド 2
ミュート 28
無線 3
ホットキー
[QuickLock]を開始する 51
画面の輝度を上げる 51
画面の輝度を下げる 51
画面を切り替える 51
使用 50
スタンバイを起動する 50
スピーカーの音を消す 52
スピーカーの音量を上げる 52
スピーカーの音量を下げる 52
説明 49

ま

マイク (オーディオ入力) コネクタ 5, 27
マウス、外付け
オプションの設定 49
接続 49
マルチメディア コンポーネント、位置 26
マルチメディア ソフトウェア
インストール 29
使用 29

み

右のタッチパッド ボタン、位置 2
ミュート (消音) ホットキー、位置 28
ミュート ボタン 28

む

無線 LAN アンテナ、位置 9
無線 LAN デバイス 13
無線 LAN のセットアップ 16
無線 LAN への接続 18
無線 LAN 8
無線 WAN アンテナ、位置 9
無線アイコン 14
無線アンテナ 9

無線コントロール
オペレーティング システム 14
ボタン 14

無線ネットワーク (無線 LAN)
企業無線 LAN への接続 18
公共無線 LAN への接続 18
セキュリティ 17
接続 18
動作範囲 18
必要な機器 16

無線ボタン
位置 3, 14

無線ランプ
確認 2, 14

ドライブ 5
バッテリー 5
無線 2

リ
リリース ラッチ
バッテリー 8, 58

ろ
ローカル エリア ネットワーク
(LAN)
ケーブルの接続 24
必要なケーブル 24
ロー バッテリー状態 59

め

メディア カード
サポートする形式 43
挿入 43
停止 44
取り出し 44

メディア スロット、位置 5

メモリ テスト 79

メモリ モジュール スロット 8

メモリ モジュール
装着 47
取り外し 46

メンテナンス
ディスク クリーンアップ 37
ディスク デフラグ 36

も

モニター コネクタ、外付け 6
モニター、接続 32

よ

読み取り可能メディア 53

ら

ラッチ、バッテリー リリース 8

ラベル
Microsoft Certificate of
Authenticity 11
規定 11
サービス タグ 10

ランプ
Caps Lock 2
Web カメラ 7
電源 2

